

衛生器具付属品表													
器具名称	器具番号	メーカー品番		付属器具									備考
				自動バルブユニット	タッチスイッチ	前丸便座	洗浄便座専用止水栓	フランジ	棚付き2連紙巻器	他付属品一式			
洋風大便器 (MWC, WWC)	C-1	TOTO	CFS464MNNA	自動バルブユニット	タッチスイッチ TES47UR	前丸便座 TC291	洗浄便座専用止水栓	フランジ	棚付き2連紙巻器 YH702	他付属品一式			
		LIXIL	C-P25H	自動バルブユニット OKC-AT7110S	タッチスイッチ OKC-8BY	前丸便座 CF-39CK	洗浄便座専用止水栓 CF-93-1	フランジ CF-8AWP	棚付き2連紙巻器 CF-63HST	他付属品一式 CF-51B(便座当り止) CF-103BB(スパッド)			
洋風大便器 (壁掛型) (MWC, WWC)	C-2	TOTO	C550NU	自動バルブユニット TEFV70UHR	タッチスイッチ TES47UR	前丸便座 TC291	洗浄便座専用止水栓	フランジ TW450W	棚付き2連紙巻器 YH702	壁排水スタンド UTR850AZ	他付属品一式 TFS60AR(配管セット) T82CR32(スパッド)		
		LIXIL	C-P16P	自動バルブユニット OKC-AT6112S	タッチスイッチ OKC-8BY	前丸便座 CF-39CK	洗浄便座専用止水栓 CF-93-1	排水ソケット CF-22S	棚付き2連紙巻器 CF-63HST	壁排水スタンド CF-23PCU	他付属品一式 CF-51B(便座当り止) CF-103BB(スパッド)		
洋風大便器 (HWC)	C-3	TOTO	C480AN	自動バルブユニット TEFV75UR	タッチスイッチ TES47UR	洗浄便座 TCF5533S	洗浄便座専用止水栓 TH4894V3	フランジ HP4307	棚付き2連紙巻器 YH702	手摺 (別途建築工事)	他付属品一式 TS40L(洗浄管) T1122R(ソケット) TH50032R(接続金具)		
		LIXIL	C-P15SK	自動バルブユニット OKC-AT681	タッチスイッチ OKC-8BY	洗浄便座 CF-63HST-NECK	洗浄便座専用止水栓 CF-93-1	洗浄管 CF-110-51L	棚付き2連紙巻器 CF-63HST	手摺 (別途建築工事)	他付属品一式 CF-103BB(スパッド)		
幼児用洋風大便器 (3~5歳) (MWC)	C-4	TOTO	CS300B	床置き床排水大便器	節水型フラッシュバルブ TV560Q	普通便座 TC30	スパッド T82CR32	パイプホルダー T56PHx2	紙巻器 YH43M	他付属品一式		3, 4, 5, 8階MWC	
		LIXIL	C-P143S	床置き床排水大便器	節水型フラッシュバルブ CF-60UE	子供用便座 CF-43CK		フランジ CF-8AWP	紙巻器 CF-AA23P	他付属品一式 CF-51U(便座当り止) CF-103BB(スパッド)		3, 4, 5, 8階MWC	
オストメイト対応 トイレバック	C-1	TOTO	UAS811RDB2NW	汚物流し	タンク	リモコン洗浄ユニット	洗浄ボタン	電気温水器	水石けん入れ	紙巻器	鏡	他付属品一式 UTR141(側板)	
		LIXIL	PTOM-A210TRW	汚物流し	タンク	リモコン洗浄ユニット	洗浄ボタン	電気温水器	水石けん入れ	紙巻器	鏡	他付属品一式 PTOM-DSCR(側板)	
一体型小便器	U-1	TOTO	UFS900JCS	低リップ一体型壁掛小便器	他付属品一式								
		LIXIL	U-A51AP	低リップ一体型壁掛小便器	他付属品一式								
幼児用小便器	U-2	TOTO	U310GY	幼児用小便器 (手摺付き)	フラッシュバルブ T601P	壁フランジ T64CP	バックハンガー T9R	他付属品一式					
		LIXIL	U-401R	幼児用小便器 (手摺付き)	フラッシュバルブ UF-3J	壁フランジ UF-13AWP	バックハンガー UF-114E	他付属品一式 H-54(ホルム用キャップ) KF-D16(コーチネジ)	手すり KF-AA910CE40				

器具表				
器具名称	器具番号	メーカー品番		
		TOTO	LIXIL	
混合水栓	F-1	TKS05302J	SF-WL420SYX	流し用台付シングルレバー混合水栓
単水栓	F-2	T28AUNH13	LF-35-13-CV	カップリング付き横水栓+SUS製水栓柱900L共
キー式散水栓	F-3	T28KUNH13	LF-33G-13-CV	カップリング付き散水栓+鋳鉄製ボックス共
横水栓	F-4	T131SUN13	LF-16F-13	泡沫キャップ
洗濯機用水栓	F-5	TW11R	LF-WJ50KQ	緊急止水弁付(洗濯機用)
化粧鏡	K-1	YM3545A	KF-3454	355x455
ハンドドライヤー	H-1	TYC320W	KS-560AH	

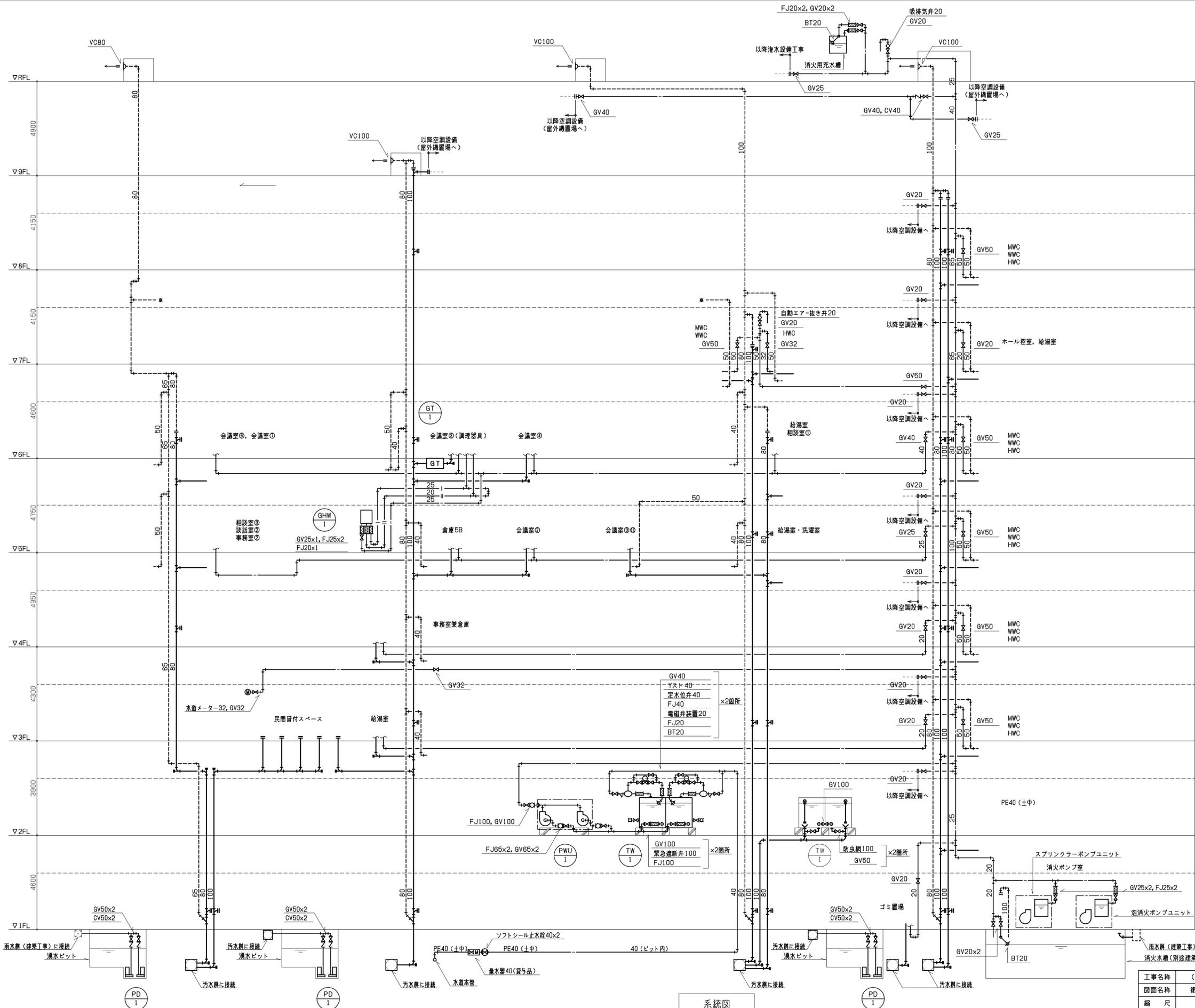
工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 衛生器具付属品表(1)	図面サイズ: A1
縮尺	—	図面番号 No. 68 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設

衛生器具付属品表													
器具名称	器具番号	メーカー品番		付属器具									備考
カウンター式洗面器 (2連) (MWC)	KL-1	TOTO	L505	カウンター 1830L 手摺×1箇所 MLWD	アンダーカウンター洗面器 2台 MP(MLWDC)NX11	給水栓 TENA126A(×2)	自動水石けん供給栓 2連 TLK06S02J	排水金具 T6PM1	ブラケット M9P40A(×3)	フロントパネル ケンドン式 MP(MFS3C)NB12	床固定金具 M17A(×4)	他付属品一式 M268N(手すり)	3, 4, 5, 8階MWC
		LIXIL	MB-450HD7WS	カウンター 1830L 手摺×1箇所	アンダーカウンター洗面器 2台	給水栓 AM-220TCV1(×2)	自動水石けん供給栓 2連 KS-932MTP-MB	排水金具 LF-105PAL-H(×2)	ブラケット MBF-616A(×2) MBF-616B	フロントパネル ケンドン式 MFP-H45S-80		他付属品一式 BB-DC/WA(手すり) A-6223(×2)(緑黒口カバー)	3, 4, 5, 8階MWC
カウンター式洗面器 (2連) (WWC)	KL-2	TOTO	L505	カウンター 1600L 手摺×1箇所 MLWD	アンダーカウンター洗面器 2台 MP(MLWDC)NX11	給水栓 TENA126A(×2)	自動水石けん供給栓 2連 TLK06S02J	排水金具 T6PM1	ブラケット M9P40A(×3)	フロントパネル ケンドン式 MP(MFS3C)NB12	床固定金具 M17A(×4)	他付属品一式 M268N(手すり)	3, 4, 5, 8階WWC
		LIXIL	MB-450HD7WS	カウンター 1600L 手摺×1箇所	アンダーカウンター洗面器 2台	給水栓 AM-220TCV1(×2)	自動水石けん供給栓 2連 KS-932MTP-MB	排水金具 LF-105PAL-H(×2)	ブラケット MBF-616A(×2) MBF-616B	フロントパネル ケンドン式 MFP-H45S-80		他付属品一式 BB-DC/WA(手すり) A-6223(×2)(緑黒口カバー)	3, 4, 5, 8階WWC
カウンター式洗面器 (2連) (MWC)	KL-3	TOTO	L505	カウンター 1780L 手摺×1箇所 MLWD	アンダーカウンター洗面器 2台 MP(MLWDC)NX11	給水栓 TENA126A(×2)	自動水石けん供給栓 2連 TLK06S02J	排水金具 T6PM1	ブラケット M9P40A(×3)	フロントパネル ケンドン式 MP(MFS3C)NB12	床固定金具 M17A(×4)	他付属品一式 M268N(手すり)	6階MWC
		LIXIL	MB-450HD7WS	カウンター 1780L 手摺×1箇所	アンダーカウンター洗面器 2台	給水栓 AM-220TCV1(×2)	自動水石けん供給栓 2連 KS-932MTP-MB	排水金具 LF-105PAL-H(×2)	ブラケット MBF-616A(×2) MBF-616B	フロントパネル ケンドン式 MFP-H45S-80		他付属品一式 BB-DC/WA(手すり) A-6223(×2)(緑黒口カバー)	6階MWC
カウンター式洗面器 (3連) (WWC)	KL-4	TOTO	L505	カウンター 2450L 手摺×1箇所 MLWD	アンダーカウンター洗面器 3台 MP(MLWDC)NX11	給水栓 TENA126A(×3)	自動水石けん供給栓 3連 TLK06S02J	排水金具 T6PM1	ブラケット M9P40A(×4)	フロントパネル ケンドン式 MP(MFS3C)NB12	床固定金具 M17A(×6)	他付属品一式	6階WWC
		LIXIL	MB-450HD7WS	カウンター 2450L 手摺×1箇所	アンダーカウンター洗面器 3台	給水栓 AM-220TCV1(×3)	自動水石けん供給栓 3連 KS-932MTP-MB	排水金具 LF-105PAL-H(×3)	ブラケット MBF-616A(×2) MBF-616B(×2)	フロントパネル ケンドン式 MFP-H45S-80		他付属品一式 BB-DC/WA(手すり) A-6223(×3)(緑黒口カバー)	6階WWC
カウンター式洗面器 (2連) (MWC)	KL-5	TOTO	L505	カウンター 1580L 手摺×1箇所 MLWD	アンダーカウンター洗面器 2台 MP(MLWDC)NX11	給水栓 TENA126A(×2)	自動水石けん供給栓 2連 TLK06S02J	排水金具 T6PM1	ブラケット M9P40A(×3)	フロントパネル ケンドン式 MP(MFS3C)NB12	床固定金具 M17A(×4)	他付属品一式	7階MWC
		LIXIL	MB-450HD7WS	カウンター 1580L 手摺×1箇所	アンダーカウンター洗面器 2台	給水栓 AM-220TCV1(×2)	自動水石けん供給栓 2連 KS-932MTP-MB	排水金具 LF-105PAL-H(×2)	ブラケット MBF-616A(×2) MBF-616B	フロントパネル ケンドン式 MFP-H45S-80		他付属品一式 BB-DC/WA(手すり) A-6223(×2)(緑黒口カバー)	7階MWC
洗面器 (HWC)	L-1	TOTO	L103DMP	自動単水栓 TEN76G	壁排水金具 (Pトラップ) T7BW9	立型水石けん入れ TS126AR	他付属品一式 TL2200(バックハンガー)						電源：消費電力1φ-100V
		LIXIL	L-365APRRS	自動単水栓 AM-365APRS	壁排水金具 LF-97PA	立型水石けん入れ KF-24F	他付属品一式 SF-10E(バックハンガー) KF-30DN(木ネジ)						電源：消費電力1φ-100V
洗面器 (壁掛け)	L-2	TOTO	L270C	自動単水栓 (1φ-100Vタイプ) TENA40A	壁排水金具 (Pトラップ) T6BMP	他付属品一式 TH7523(75'アタリ) TL2200(バックハンガー)							5階談話室②
		LIXIL	LF-275FCR	自動単水栓 (1φ-100Vタイプ) AM-200V1	壁排水金具 (Pトラップ) LF-275PAU	他付属品一式 SF-10E(バックハンガー) KF-30DN(木ネジ)							5階談話室②
手洗器 (HWC)	L-3	TOTO	LSW570AP	自動水栓 (発電タイプ)	手洗い器セット金具一式								
		LIXIL	AWL-71U2AM	自動水栓 (発電タイプ)	手洗い器セット金具一式								
手洗器 (幼児用)	L-4	TOTO	LSH90BAPT	立水栓	手洗い器セット金具一式								
		LIXIL	AWL-33	立水栓	手洗い器セット金具一式								

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 衛生器具付属品表(2)	図面サイズ: A1
縮尺	—	図面番号 No. 69 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		 株式会社 大建設

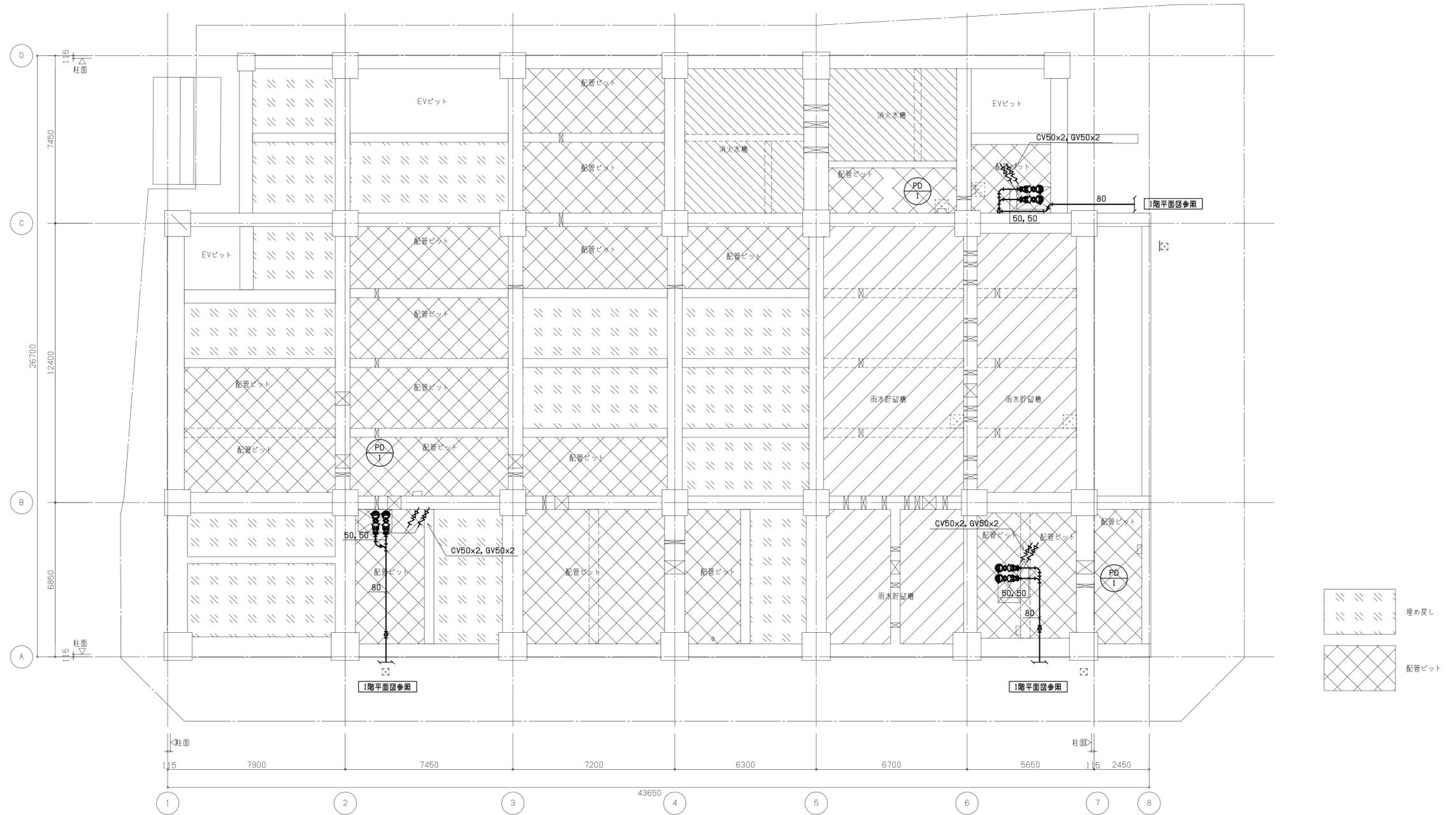
衛生器具付属品表

器具名称	器具番号	メーカー品番		付属器具							備考	
				給水栓	リムカバー	アングル型止水栓	バックハンガー	樹脂プラグ	床排水金具	他付属品一式		
掃除流し (床排水)	SK-1	TOTO	SK22A	給水栓 T23AEQ20C	リムカバー TK22	アングル型止水栓 TN114	バックハンガー T9R	樹脂プラグ HH0406D	床排水金具 T37SGEP	他付属品一式		
		LIXIL	S-202A	給水栓 LF-7KEZ-19	リムカバー	アングル型止水栓 SF-202	バックハンガー SF-10E	樹脂プラグ	床排水金具 SF-20SAF-P	他付属品一式 SF-202(給水ホース)		
掃除流し (壁排水)	SK-2	TOTO	SK22A	給水栓 T23AEQ20C	リムカバー TK22	アングル型止水栓 TN114	バックハンガー T9R	樹脂プラグ HH0406D	床排水金具 T37SGEP	他付属品一式		
		LIXIL	S-202A	給水栓 LF-7KEZ-19	リムカバー	アングル型止水栓 SF-202	バックハンガー SF-10E	樹脂プラグ	床排水金具 SF-20PA-P	他付属品一式 SF-202(給水ホース)		
洗濯パン	ST-1	TOTO	PWSP90DSW	鍍物横引トラップ PJ2003B								
		LIXIL	PF-9064C	鍍物横引トラップ JT-4-S								



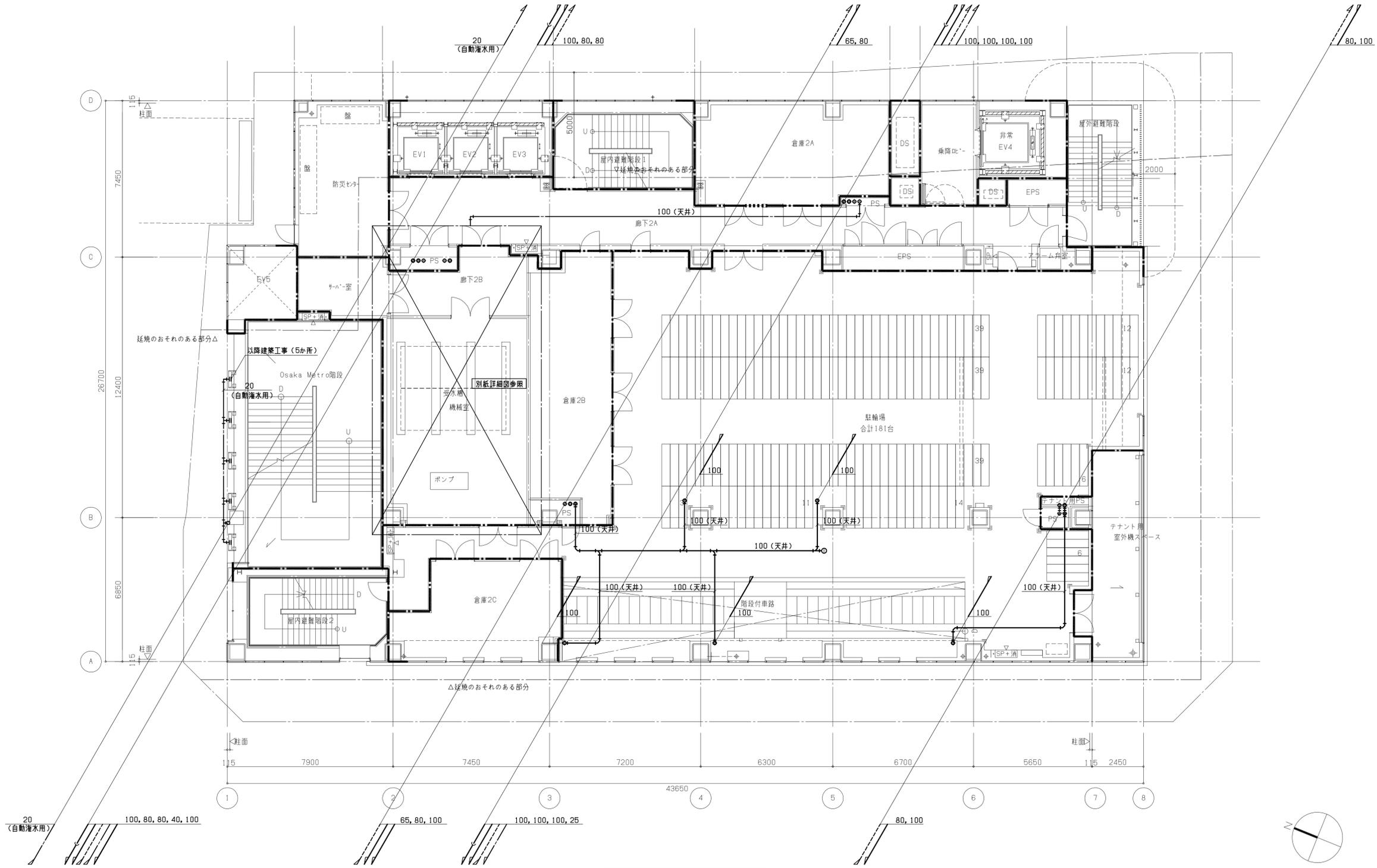
系統図

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 系統図	図面サイズ: A1
縮尺	-	図面番号 No. 71 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		



ビット図

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 ビット階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No. 72 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設

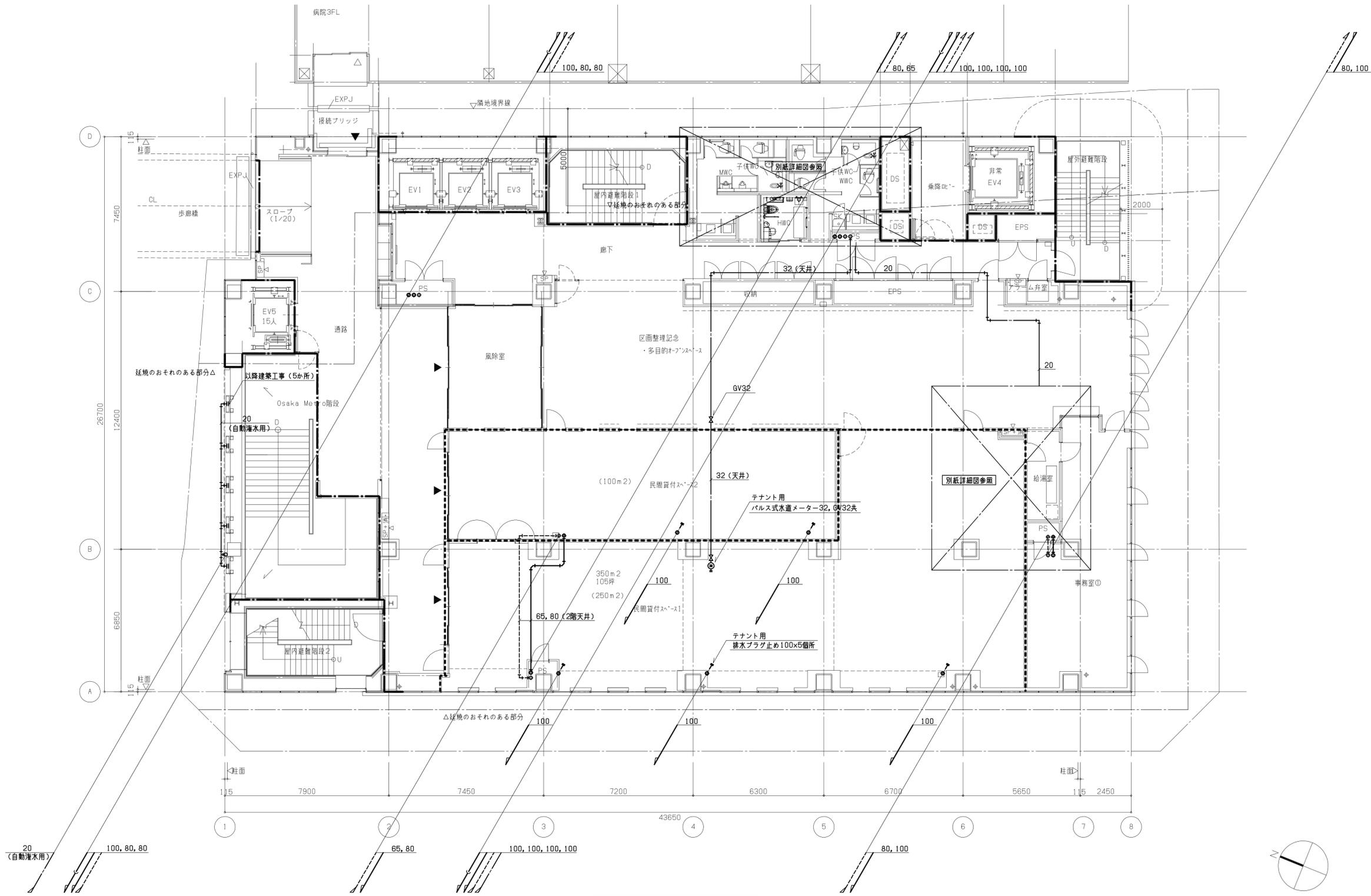


- 凡例
- 防火区画
 - - - 異種用途区画
 - 延焼線

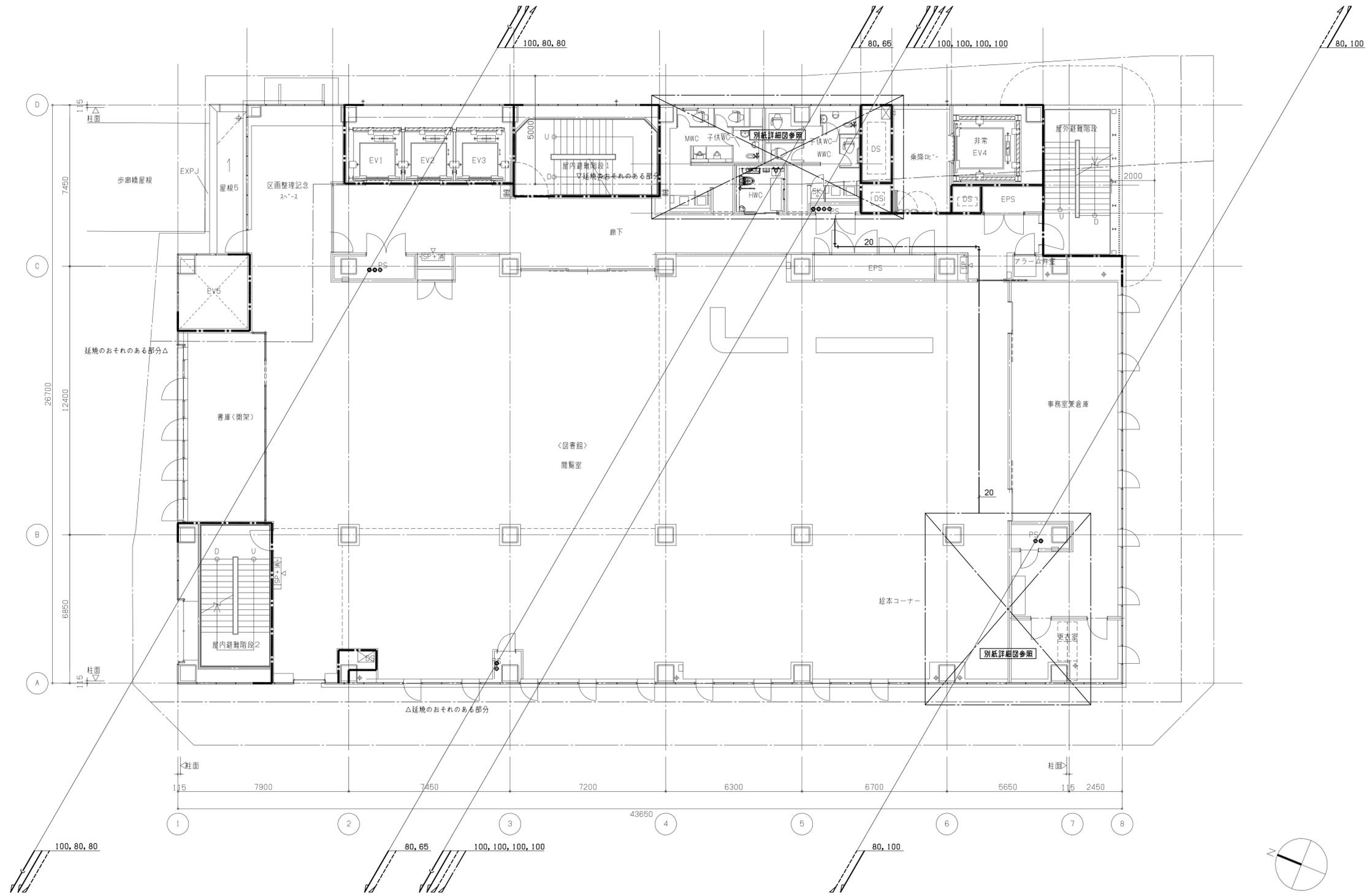
2階平面図

注) 1. 壁面自動灌水用給水管はHIVP(保温無し)とする。

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 2階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No. 74 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 天建設計



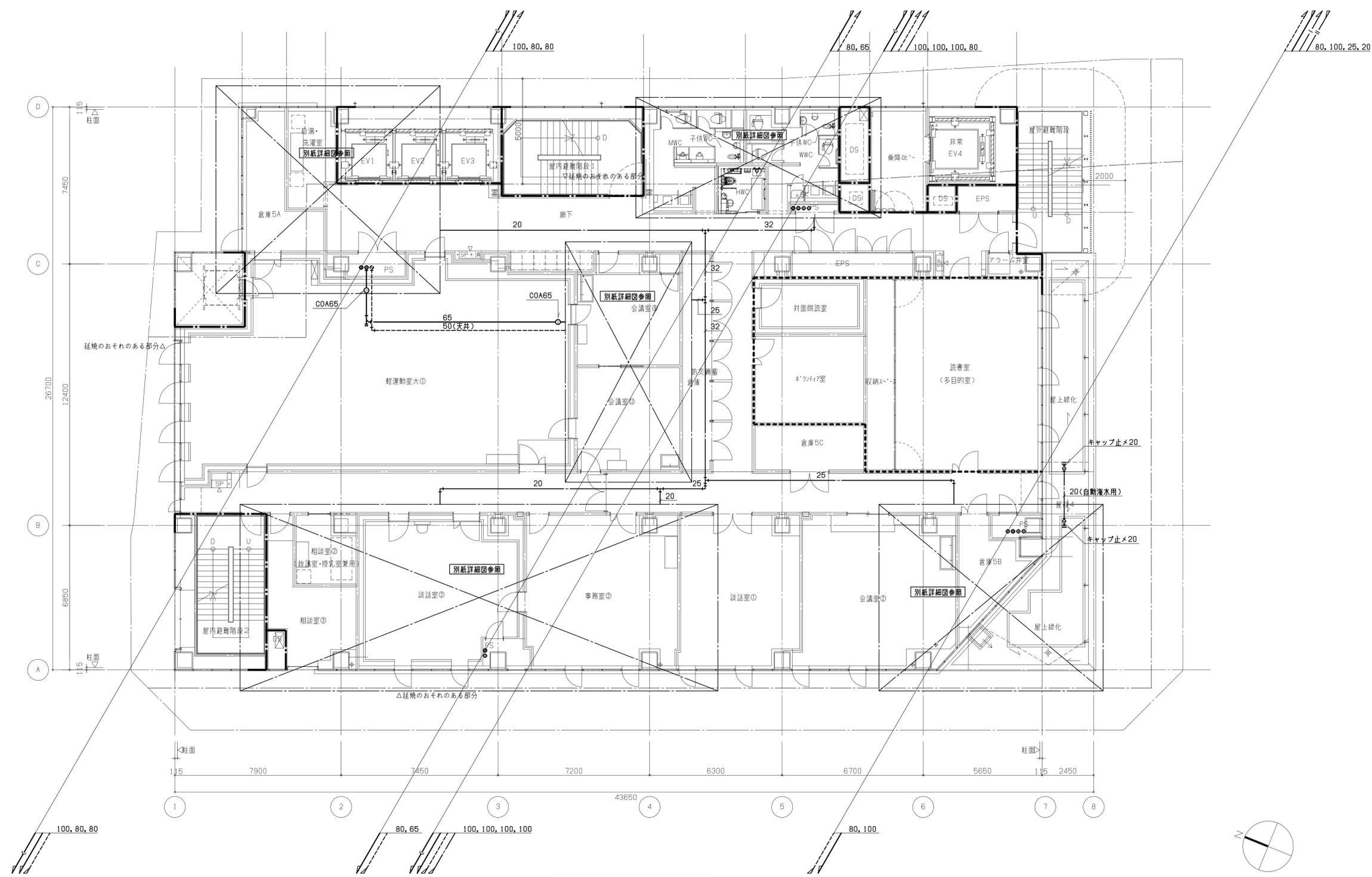
工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 3階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No. 75 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 天建設計



- 凡例
- 防火区画
 - - - 異種用途区画
 - 延焼線

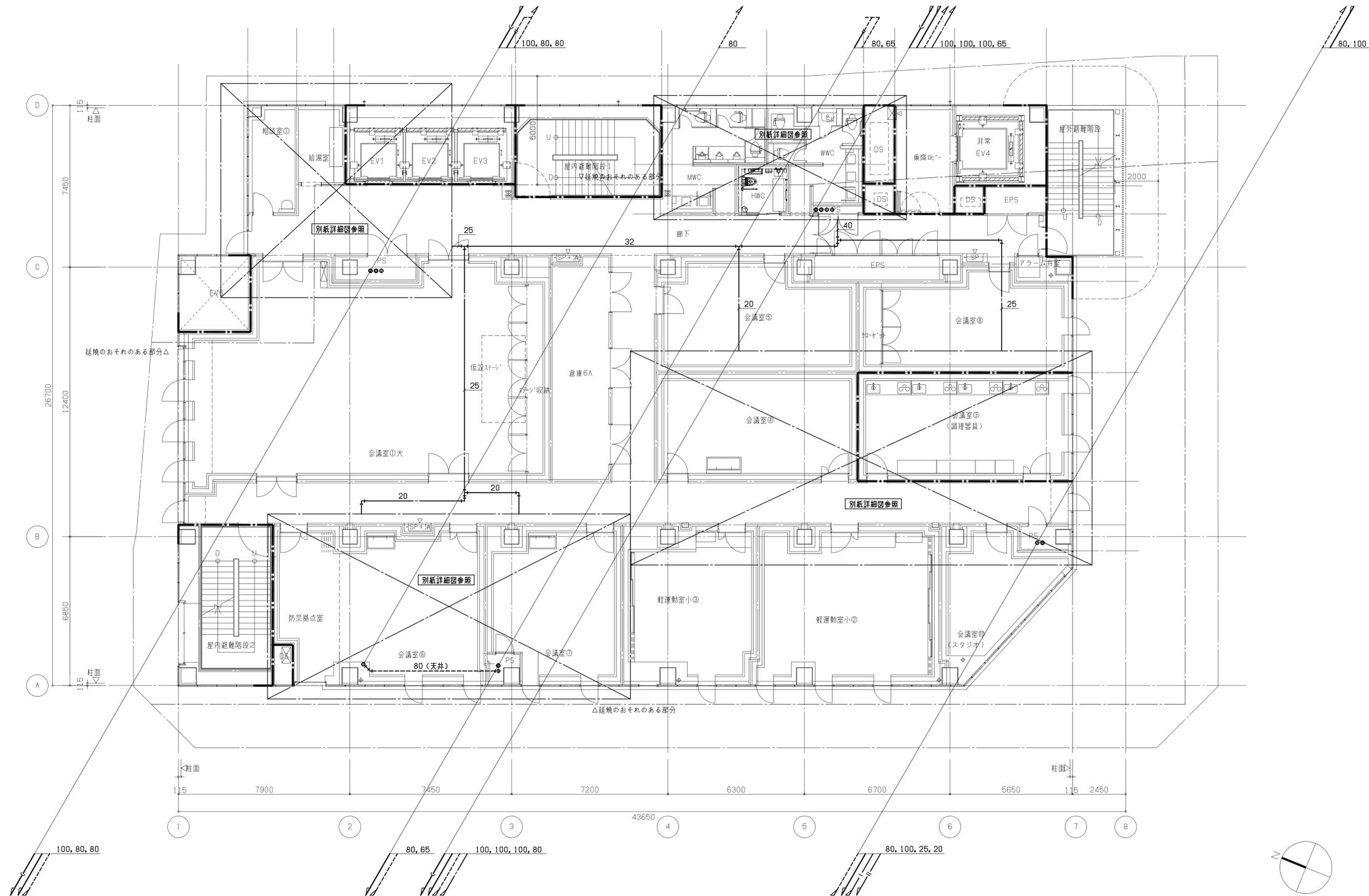
4階平面図

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 4階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No. 76 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設



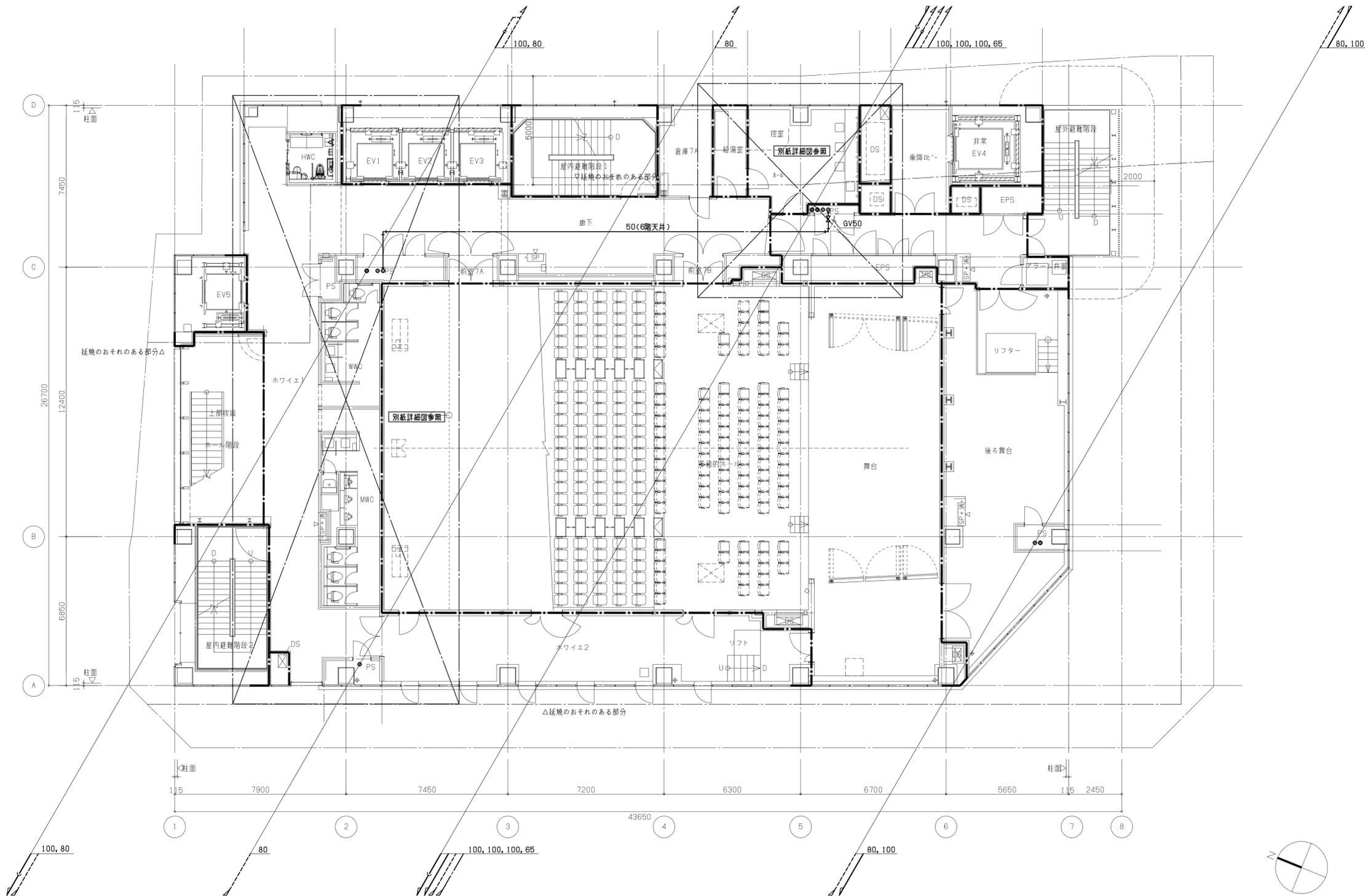
5階平面図

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 5階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No. 77 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		



6階平面図

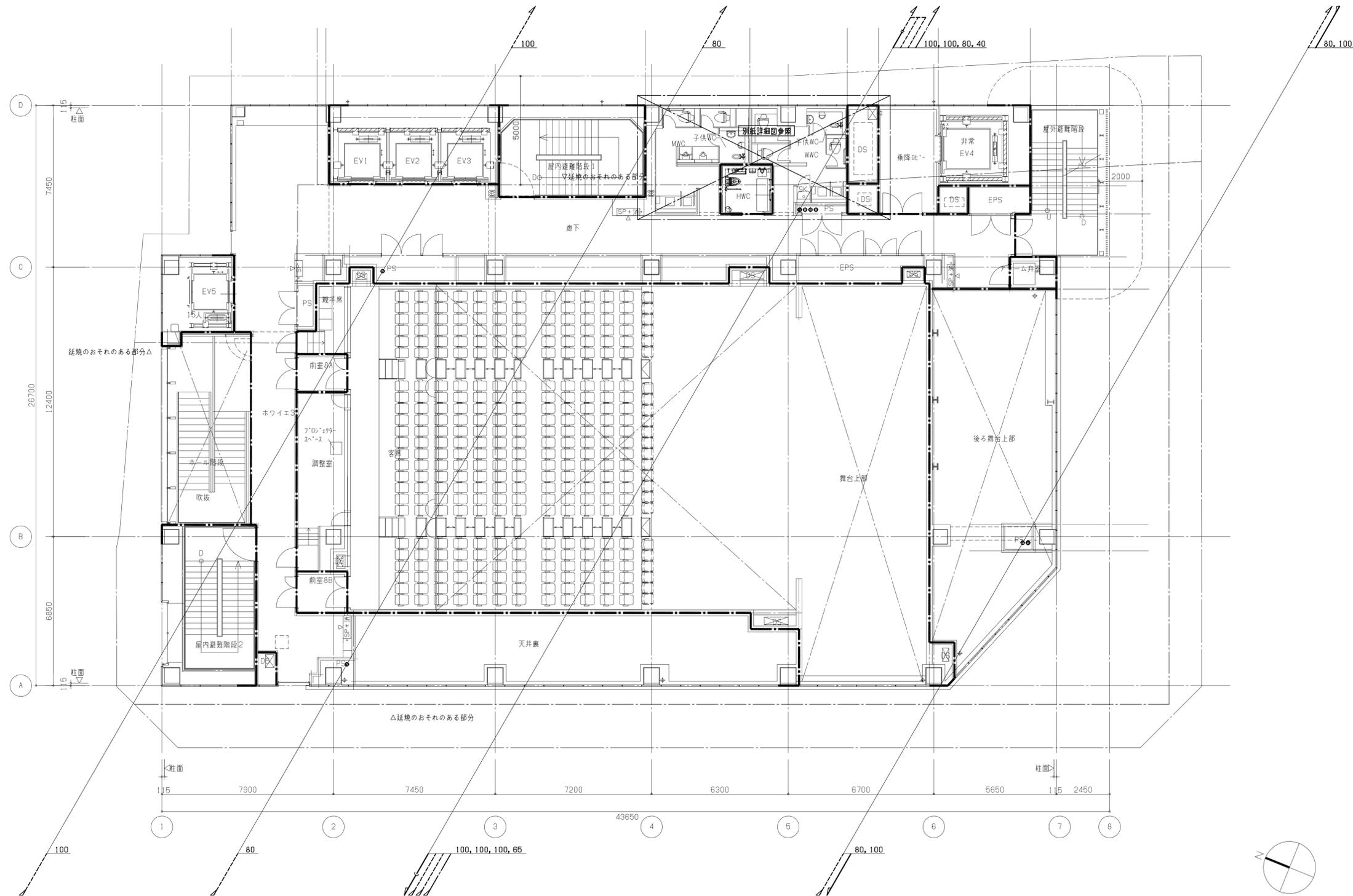
工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 6階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No. 78 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 天建設計



7階平面図

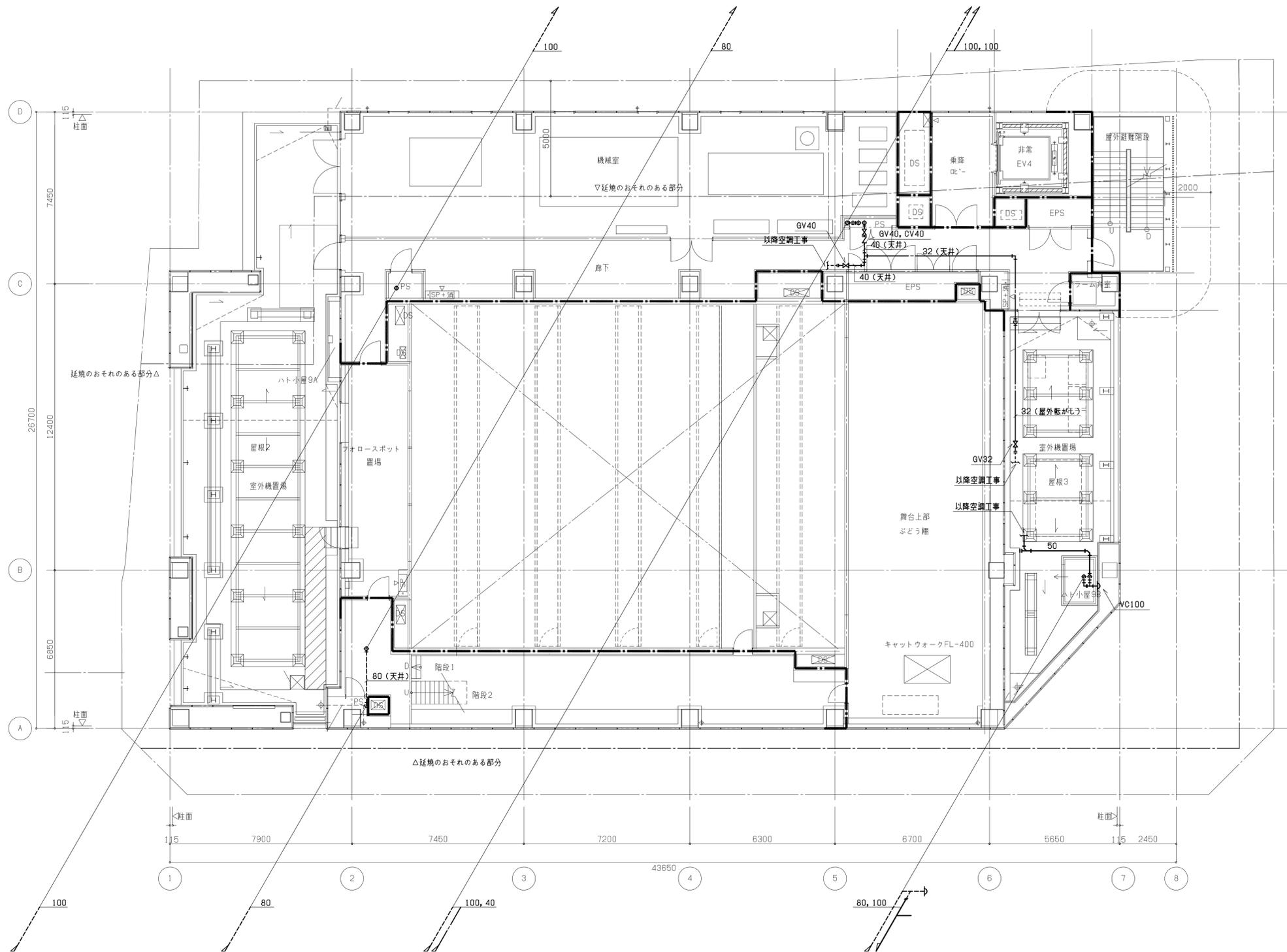
- 凡例
- 防火区画
 - - - 異種用途区画
 - 延焼線

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 7階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No. 79 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設



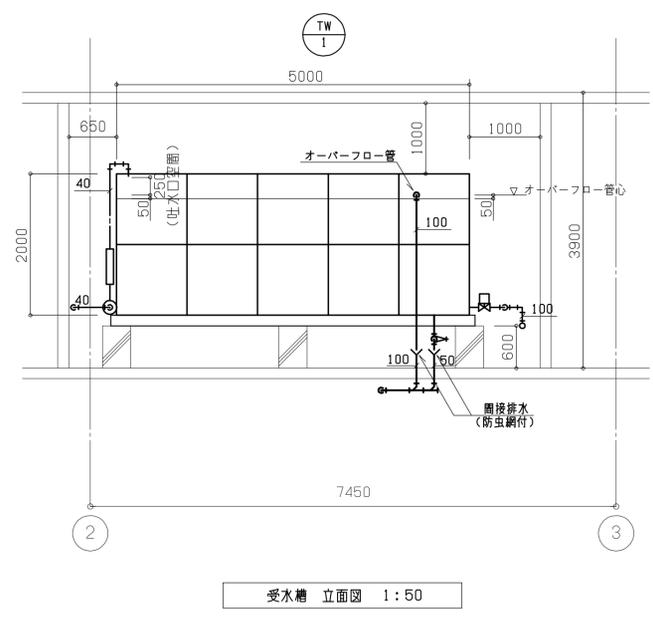
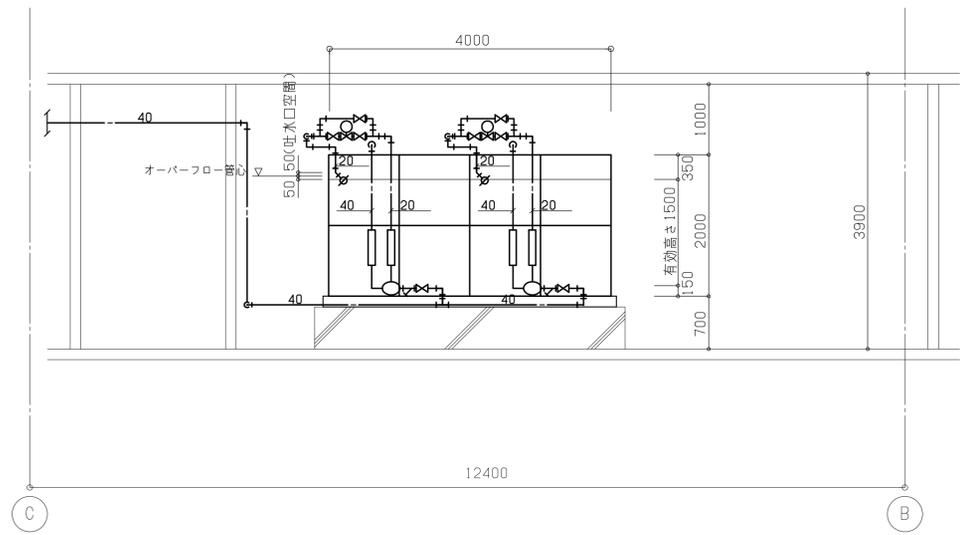
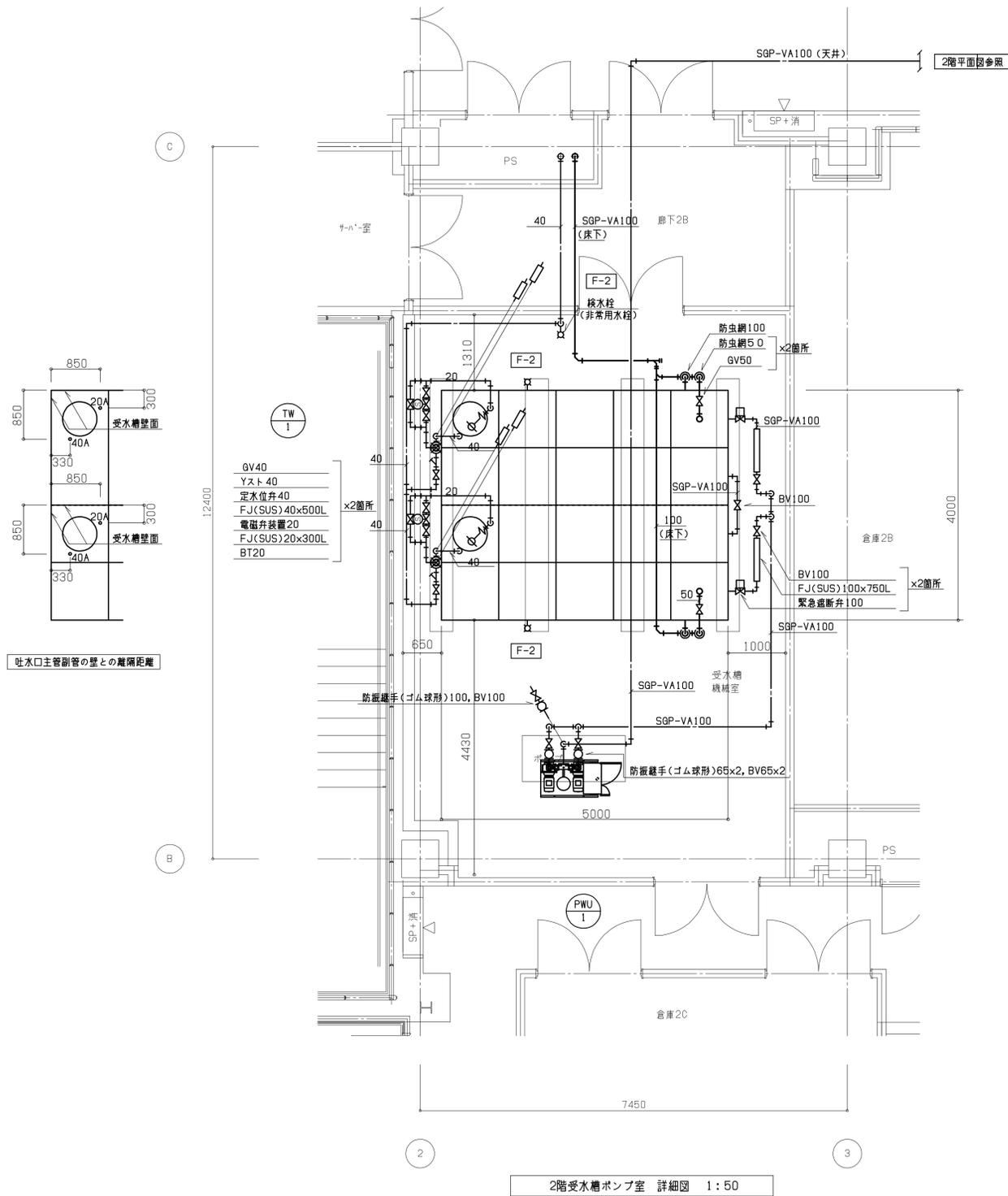
8階平面図

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 8階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No. 80 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		

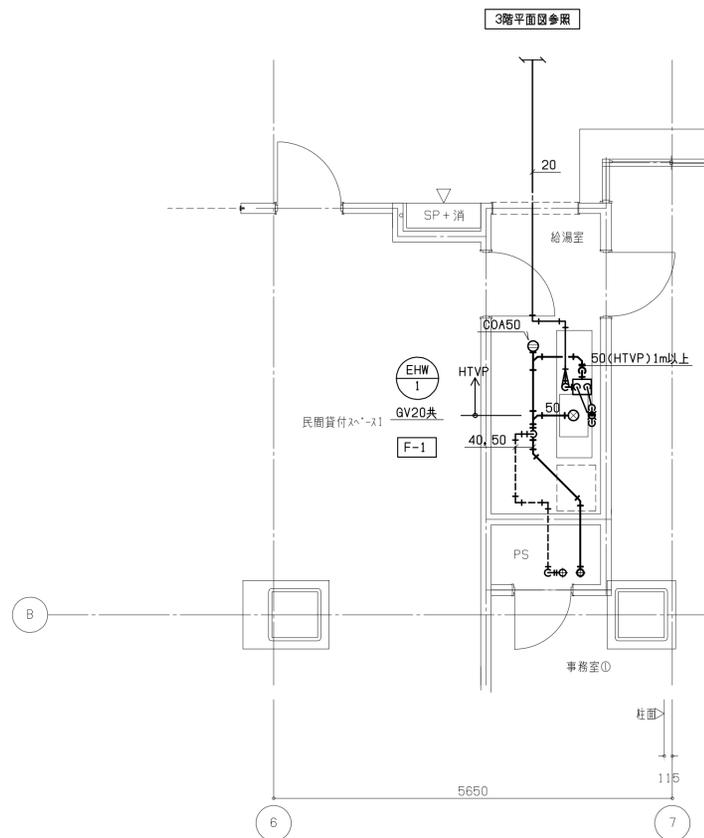


9階平面図

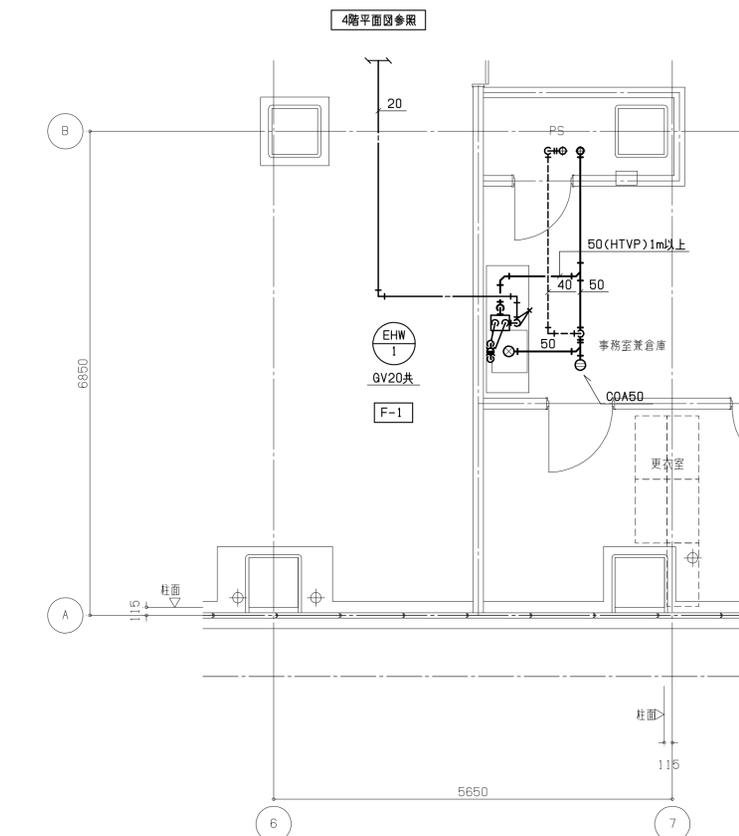
工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 9階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No. 81 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 天建設計



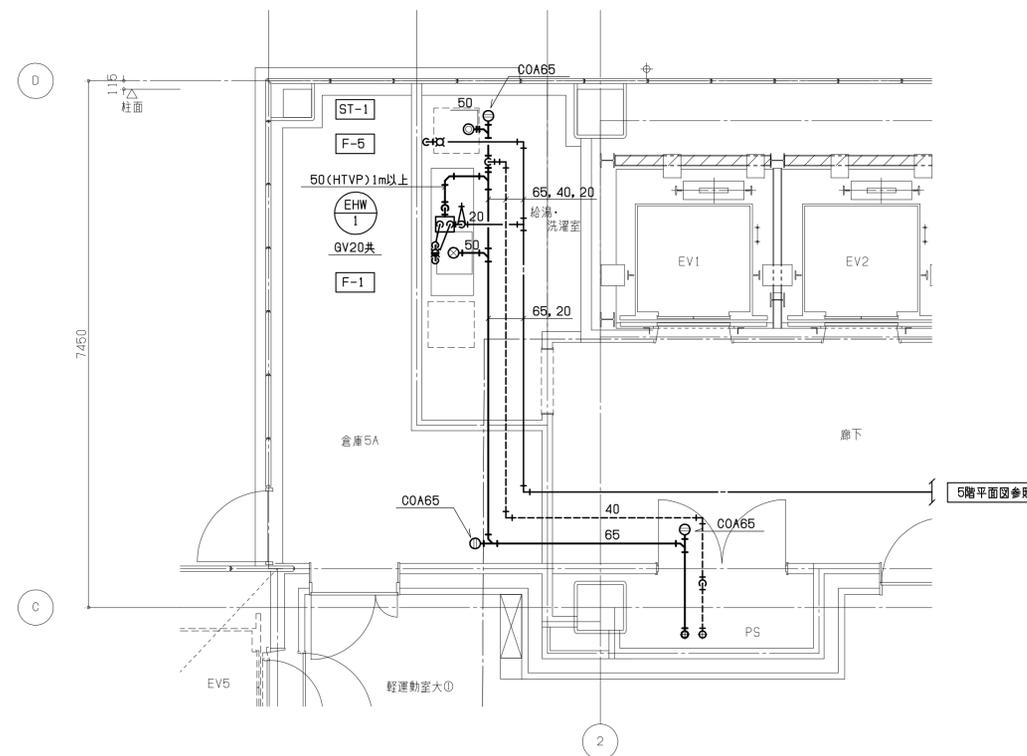
工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 2階受水ポンプ室詳細図	図面サイズ: A1
縮尺	1:50	図面番号 No. 83 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 天建設計



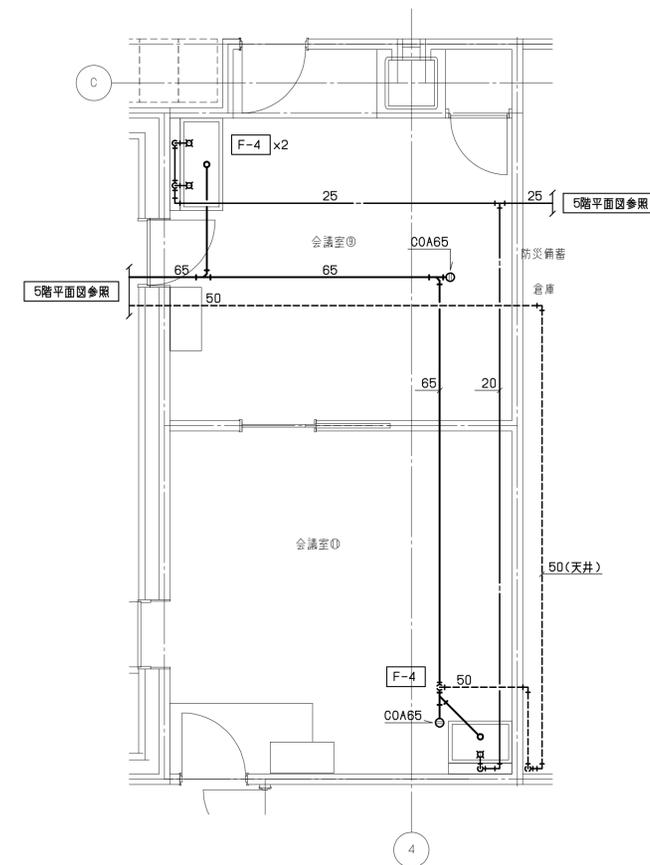
3階給湯室平面詳細図 1:50



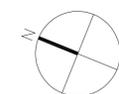
4階事務所兼倉庫平面詳細図 1:50



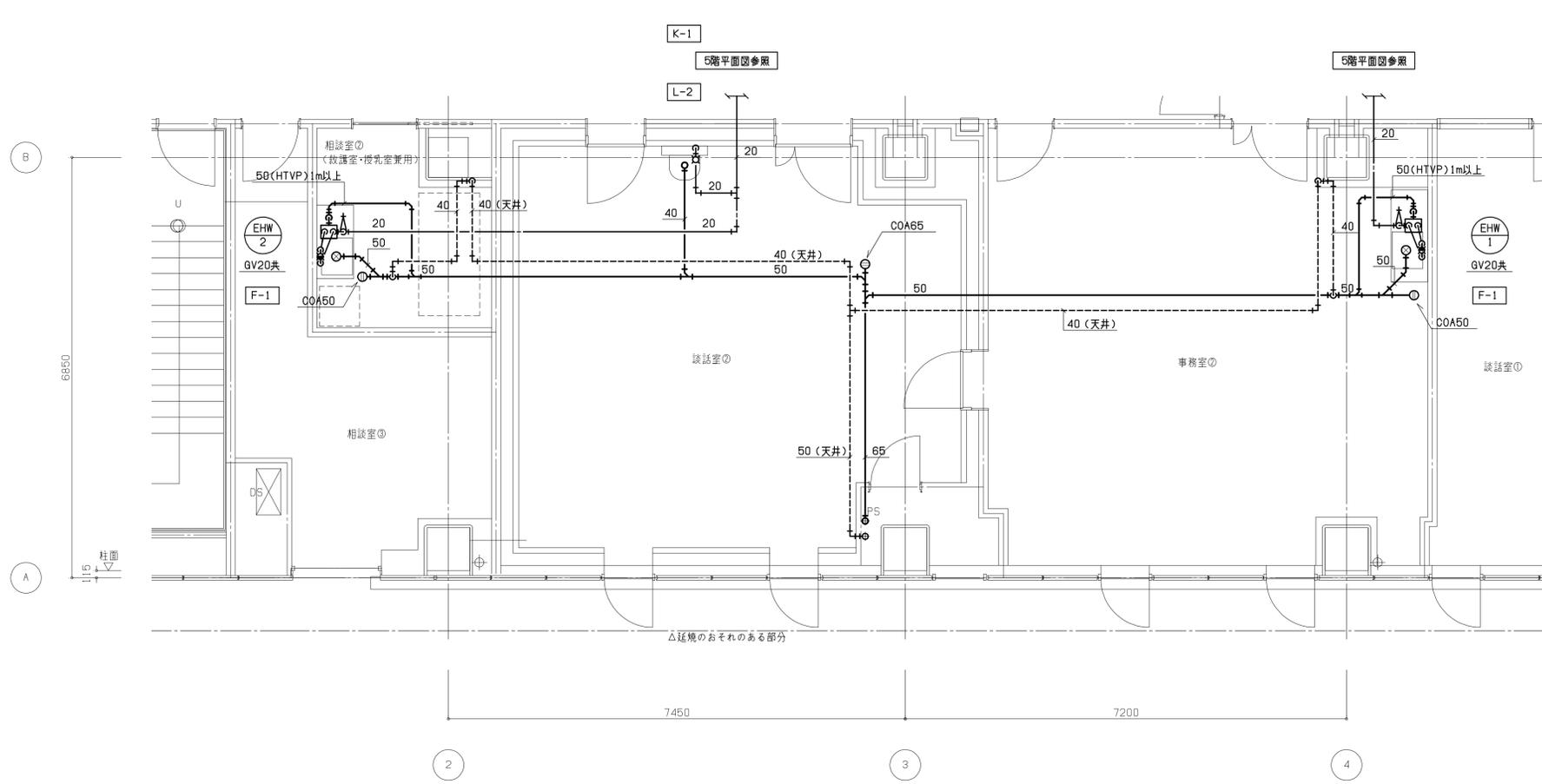
5階給湯・洗濯室平面詳細図 1:50



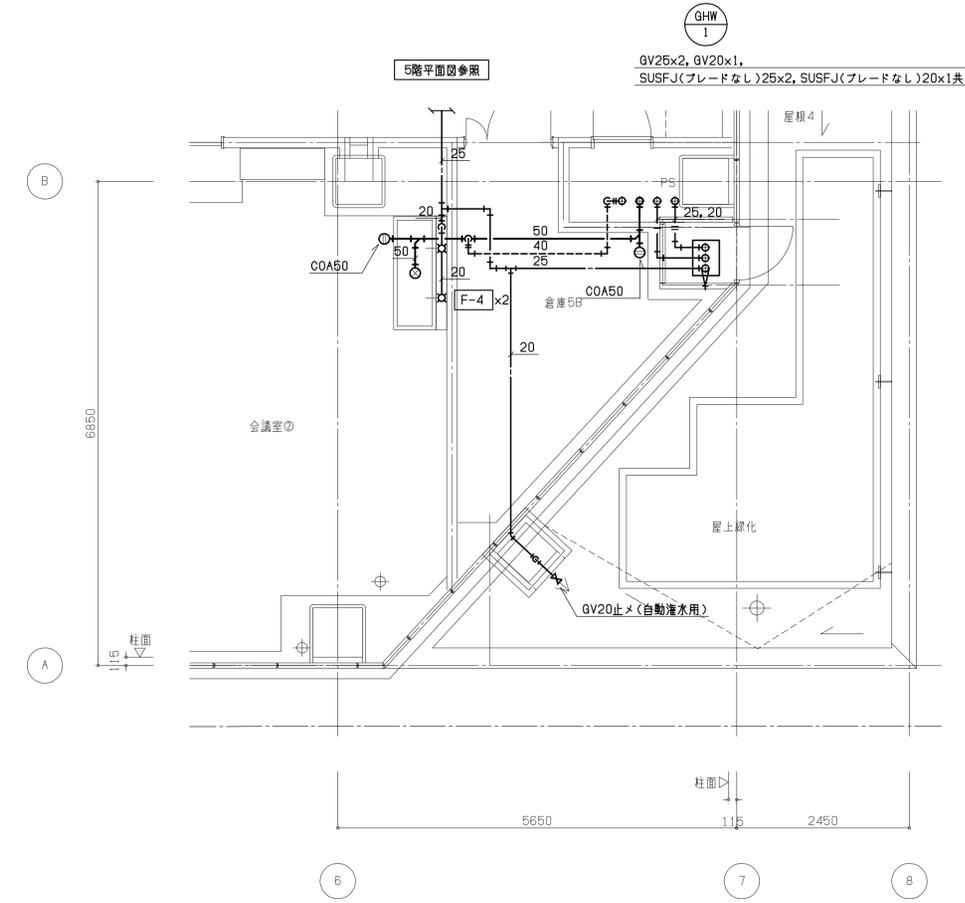
5階会議室⑩⑪平面詳細図 1:50



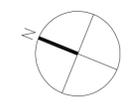
工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 3・4・5階平面詳細図	図面サイズ: A1
縮尺	1:50	図面番号 No. 84 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		設計事務所 大建設計



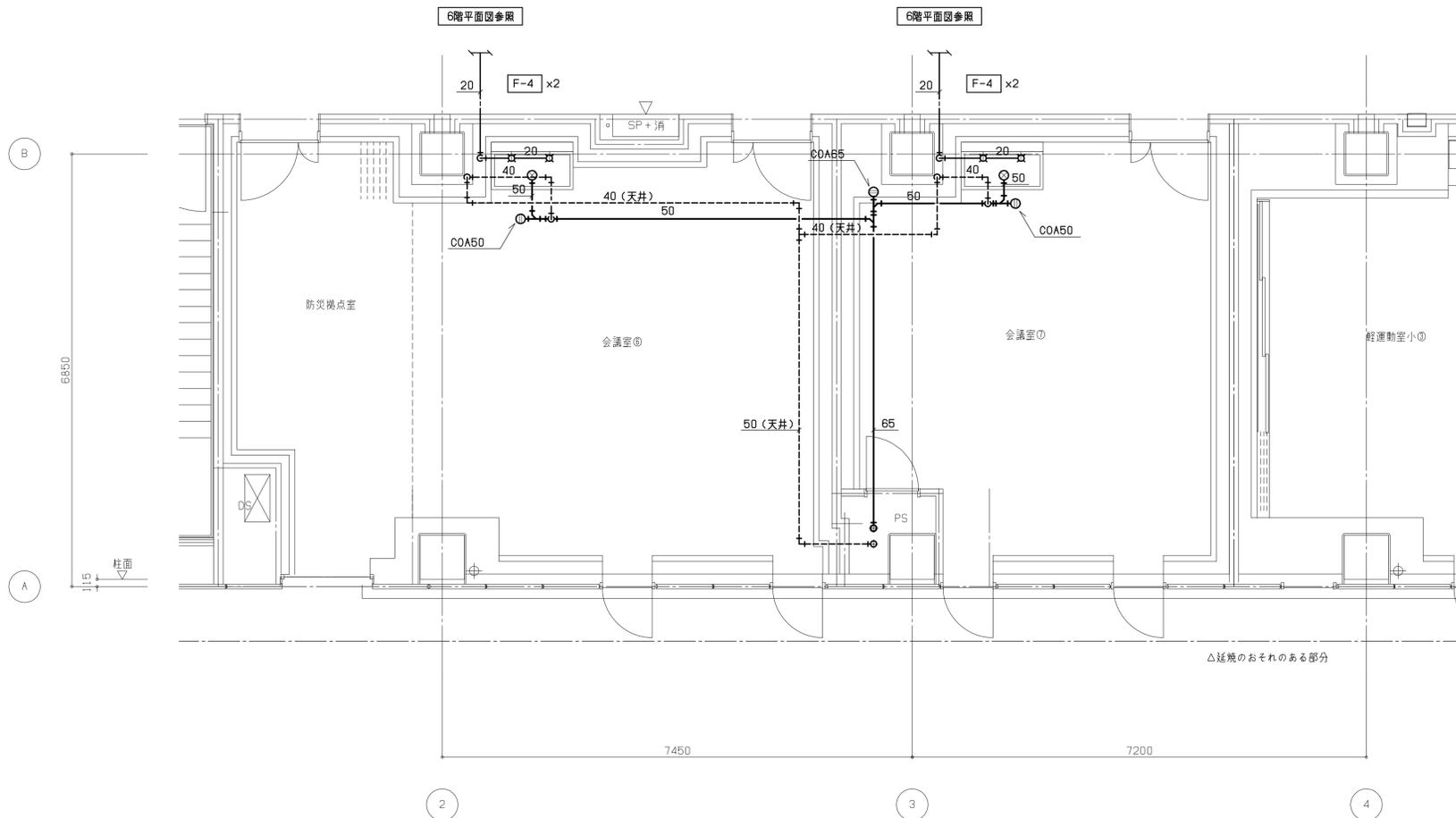
5階相談室③談話室②事務室②平面詳細図 1:50



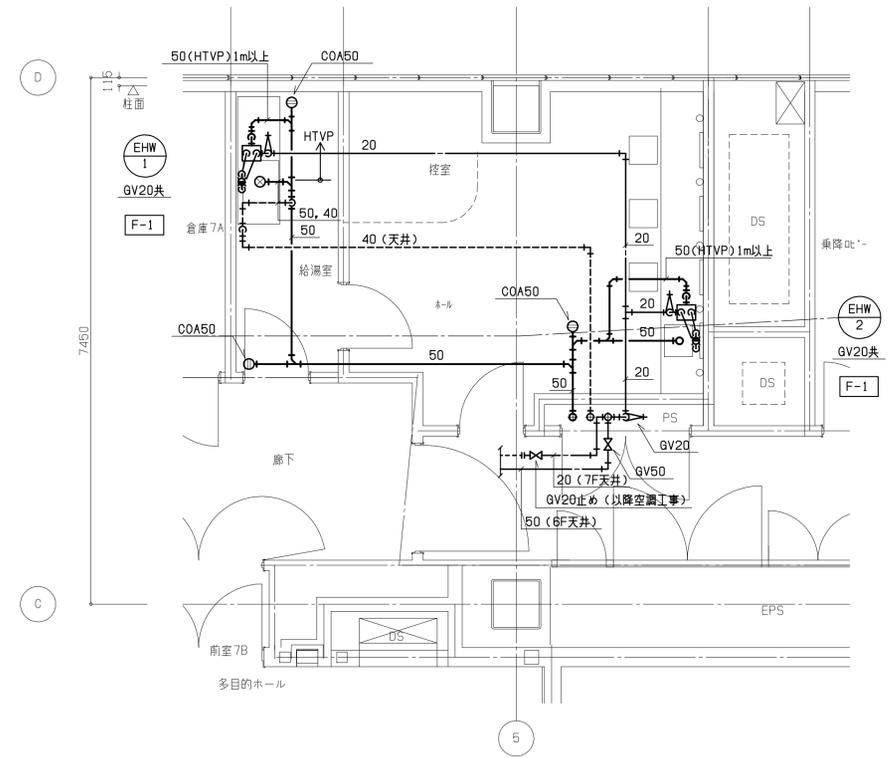
5階会議室②平面詳細図 1:50



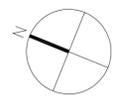
工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 5階平面詳細図	図面サイズ: A1
縮尺	1:50	図面番号 No. 85 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		設計事務所 大建設



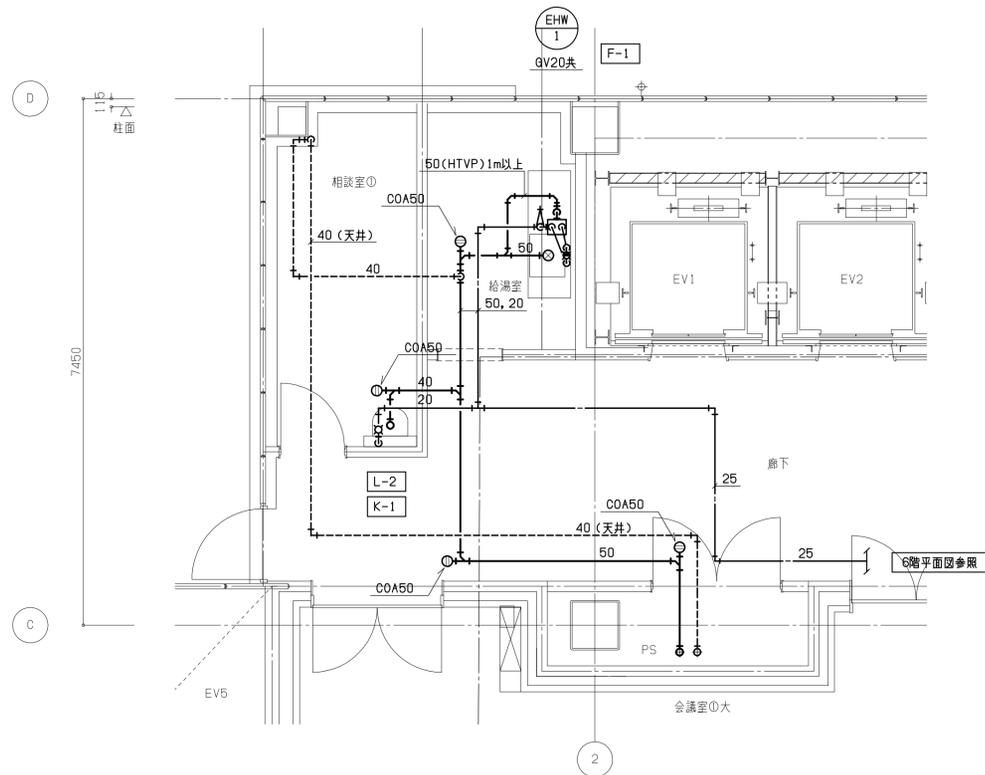
6階会議室⑥⑦平面詳細図 1:50



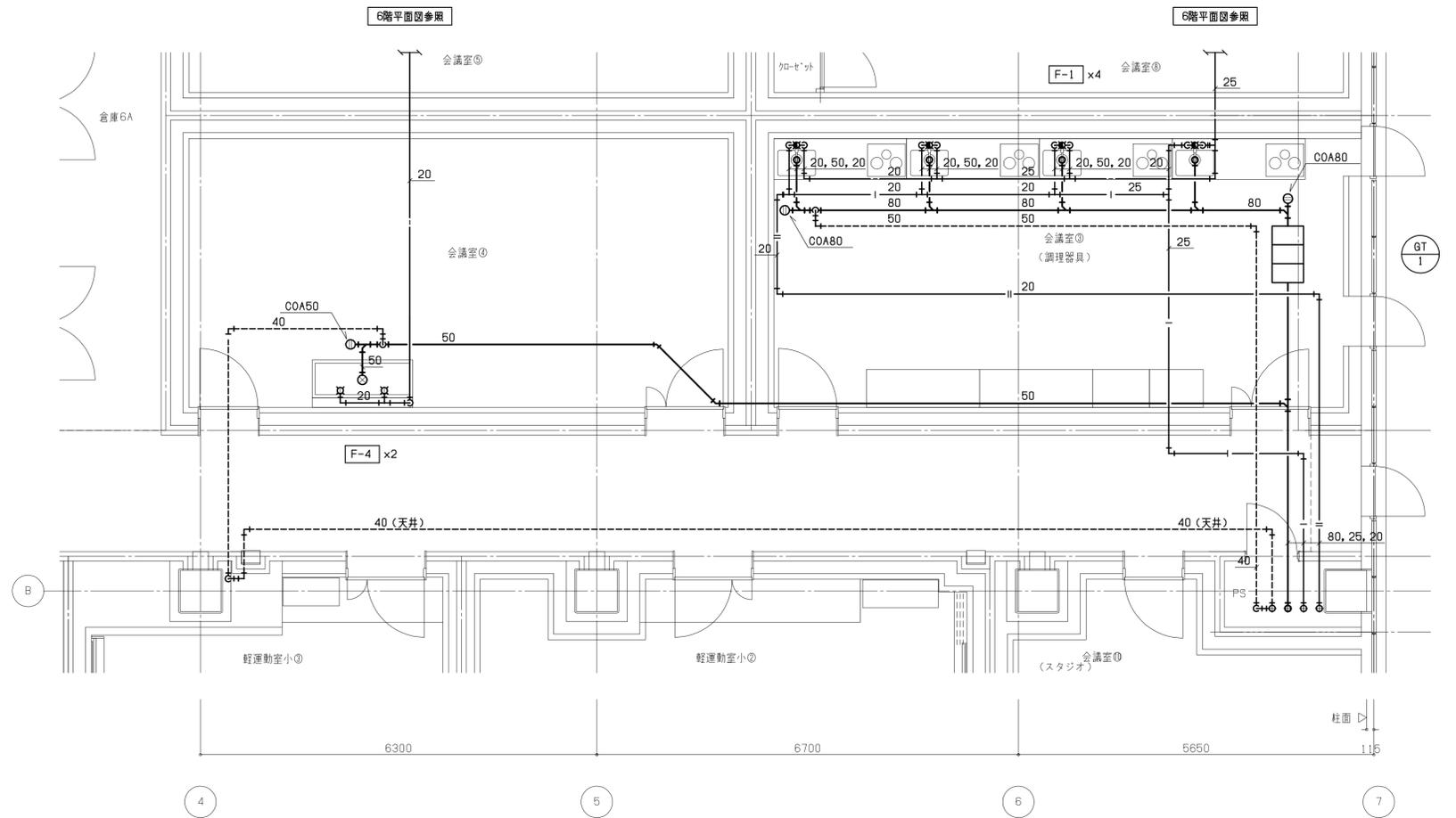
7階給湯室、控室平面詳細図 1:50



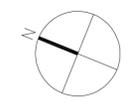
工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 6・7階平面詳細図	図面サイズ: A1
縮尺	1:50	図面番号 No. 86 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		設計事務所 天建設計



6階給湯室平面詳細図 1:50



6階会議室④平面詳細図 1:50



工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 6階平面詳細図	図面サイズ: A1
縮尺	1:50	図面番号 No. 87 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		設計事務所 天建設

3・5階便所（身障者便所付）器具表

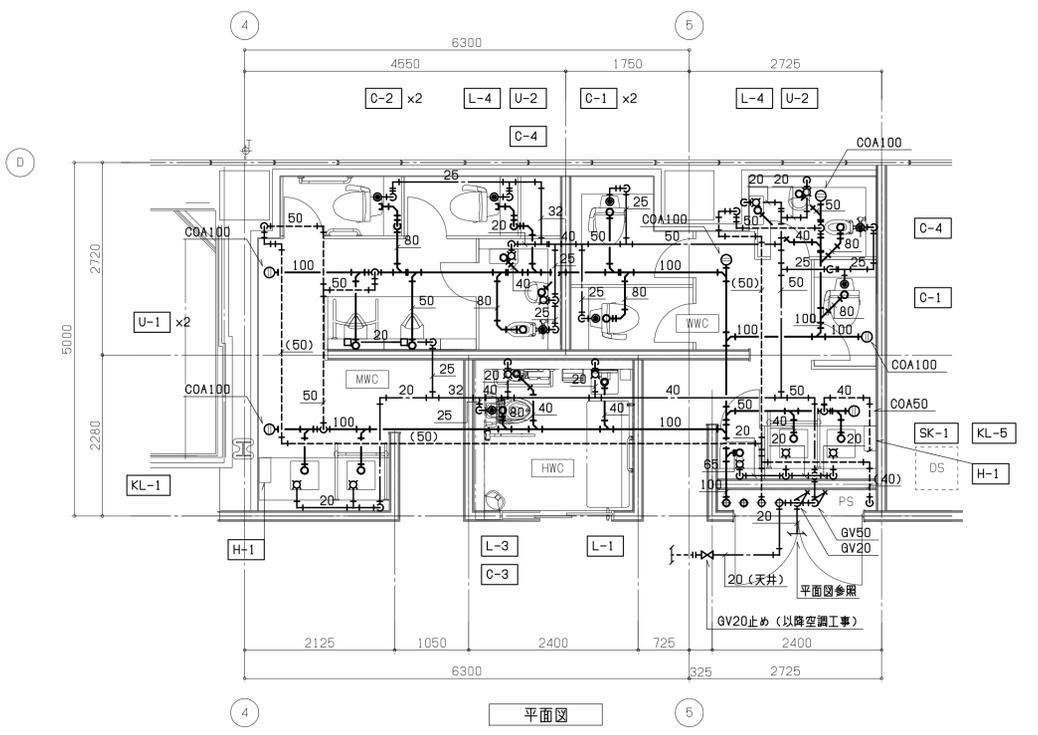
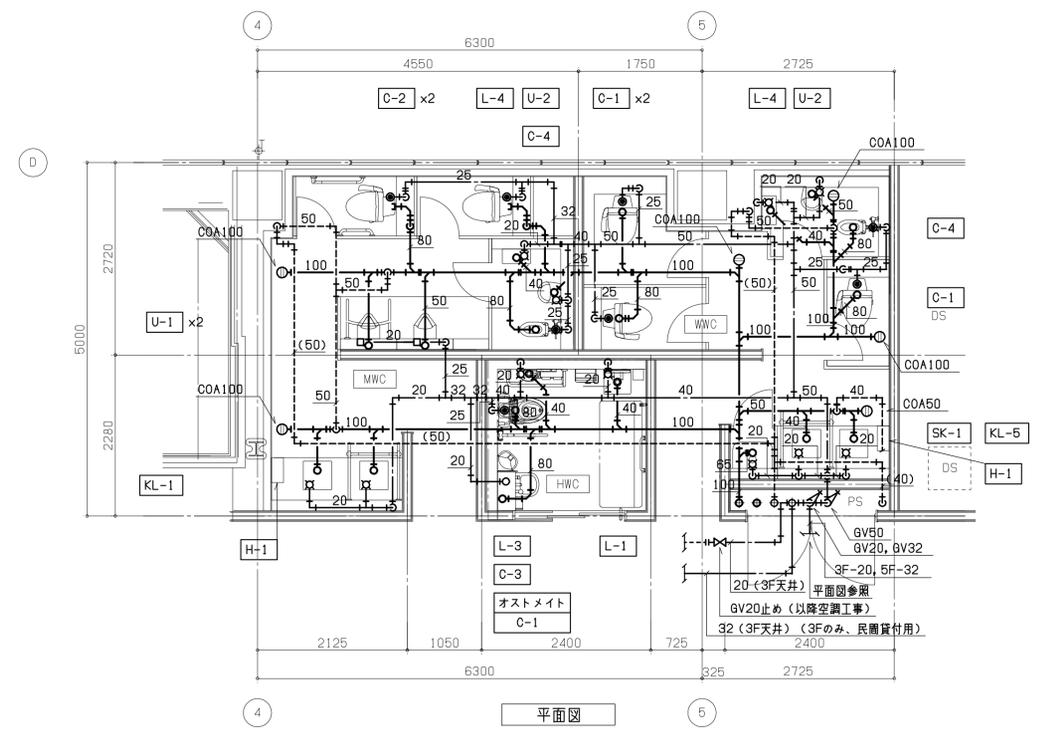
※数量は1フロア当たり

名称	品番	数量
洋風大便器	C-1	3
洋風大便器（壁掛型）	C-2	2
洋風大便器	C-3	1
幼児用洋風大便器	C-4	2
オストメイト対応 トイレバック	C-1	1
一体型小便器	U-1	2
幼児用小便器	U-2	2
カウンター式洗面器	KL-1	1
カウンター式洗面器	KL-5	1
洗面器	L-1	1
手洗器	L-3	1
手洗器（幼児用）	L-4	2
掃除流し	SK-1	1
ハンドドライヤー	H-1	2
床上掃除口	COA50	1
床上掃除口	COA100	5

4・8階便所（身障者便所付）器具表

※数量は1フロア当たり

名称	品番	数量
洋風大便器	C-1	3
洋風大便器（壁掛型）	C-2	2
洋風大便器	C-3	1
幼児用洋風大便器	C-4	2
一体型小便器	U-1	2
幼児用小便器	U-2	2
カウンター式洗面器	KL-1	1
カウンター式洗面器	KL-5	1
洗面器	L-1	1
手洗器	L-3	1
手洗器（幼児用）	L-4	2
掃除流し	SK-1	1
ハンドドライヤー	H-1	2
床上掃除口	COA50	1
床上掃除口	COA100	5



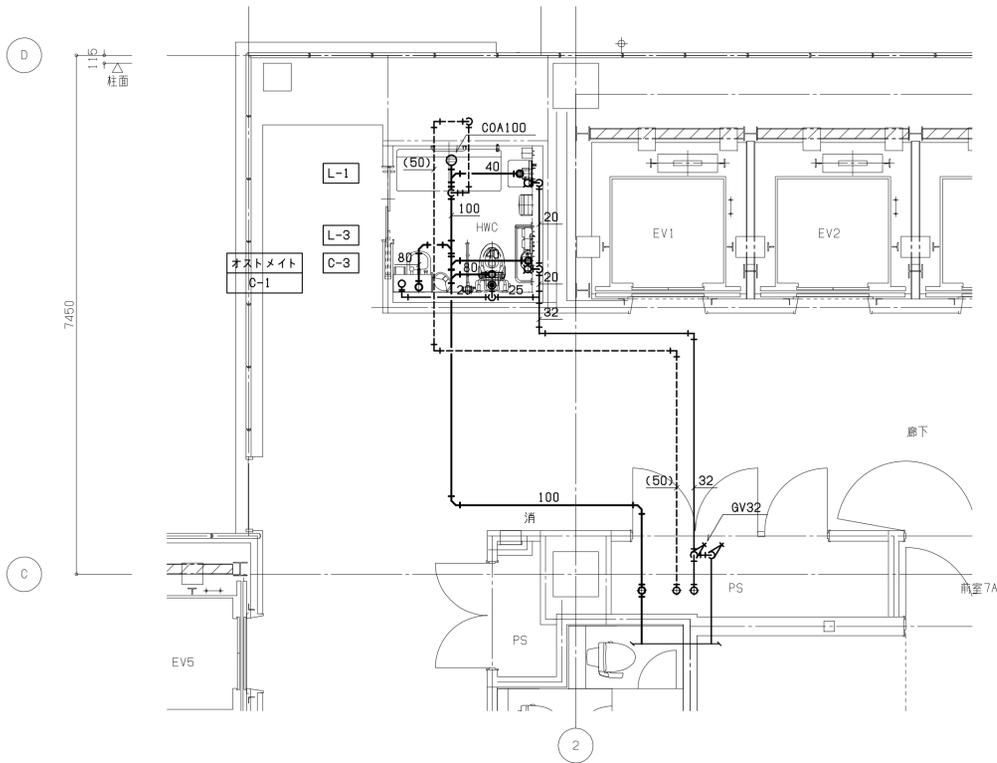
工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 3～5・8階便所詳細図	図面サイズ: A1
縮尺	1:50	図面番号 No. 88 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設計

7階身障者便所器具表

名称	品番	数量
洋風大便器	C-3	1
オストメイト対応 トイレバック	C-1	1
洗面器	L-1	1
手洗器	L-3	1
床上柵除口	COA100	1

6階便所（身障者便所付）器具表

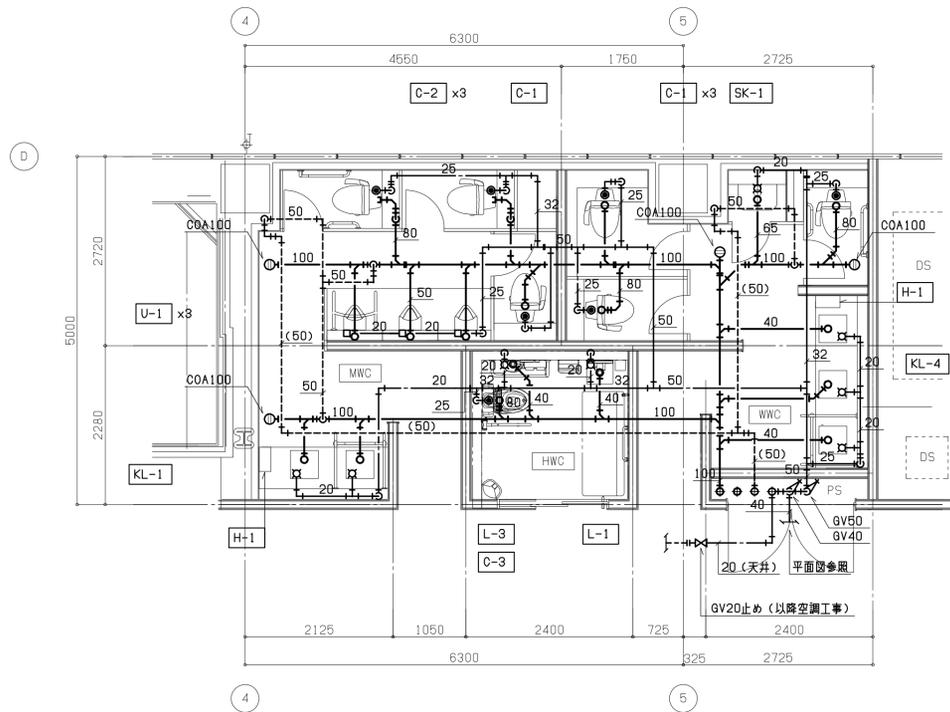
名称	品番	数量
洋風大便器	C-1	4
洋風大便器（壁掛型）	C-2	2
洋風大便器	C-3	1
一体型小便器	U-1	3
カウンター式洗面器	KL-1	1
カウンター式洗面器	KL-4	1
洗面器	L-1	1
手洗器	L-3	1
柵除流し	SK-1	1
ハンドドライヤー	H-1	2
床上柵除口	COA100	4



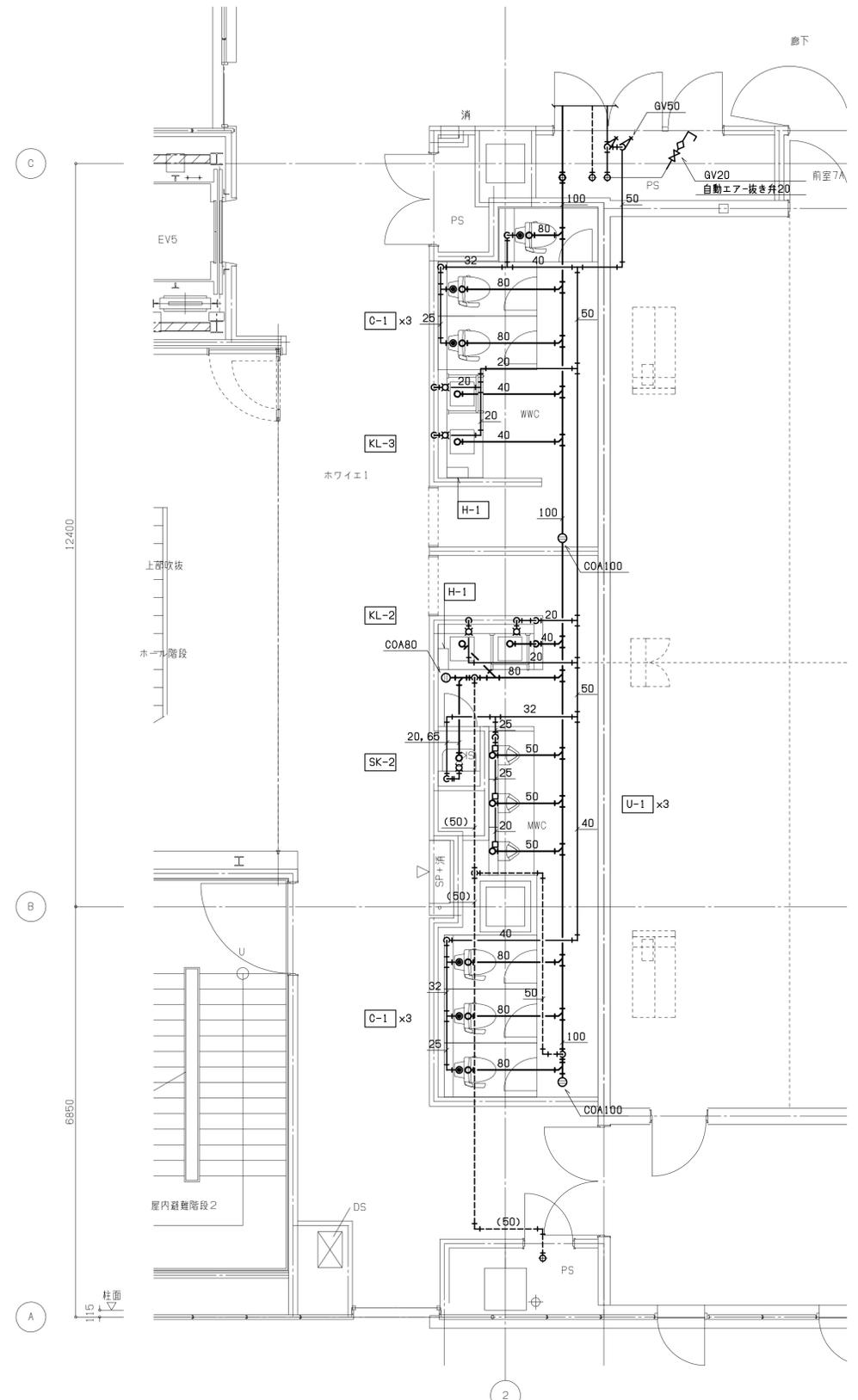
7階 平面詳細図 1:50
(*)は天井配管とする。

7階便所器具表

名称	品番	数量
洋風大便器	C-1	6
一体型小便器	U-1	3
カウンター式洗面器	KL-2	1
カウンター式洗面器	KL-3	1
柵除流し	SK-2	1
ハンドドライヤー	H-1	2
床上柵除口	COA80	1
床上柵除口	COA100	1



6階 平面詳細図 1:50
(*)は天井配管とする。



7階 平面詳細図 1:50
(*)は天井配管とする。

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	衛生設備 6・7階便所詳細図	図面サイズ: A1
縮尺	1:50	図面番号 No. 89 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課(設備グループ)		株式会社 天建設計

機器表

記号	機器名称	機器仕様	電気容量			台数	設置場所	備考
			φ	V	kw			
FP-1	スプリンクラーポンプ	スプリンクラーポンプユニット 150φ×2,610L/min×111m 付属品 制御盤(消火水槽満減、呼水槽減水、ポンプ異常)、呼水槽、空気圧力槽、止水弁、逆止弁、フート弁、フレキ、流量計、逃し管、他一式	3	200	75	1	1階	自家発系統
FP-2	泡消火ポンプ	泡消火ポンプユニット 125φ×1,000L/min×59m 付属品 制御盤(消火水槽満減、呼水槽減水、ポンプ異常)、呼水槽、空気圧力槽、止水弁、逆止弁、フート弁、フレキ、流量計、逃し管、他一式	3	200	22	1	1階	自家発系統
T-1	消火用補給水槽	SUS304製角形 耐震2.0G 有効容量 500L 寸法 800×800×1100H 架台 1000H(溶融亜鉛メッキ)、電極座、マンホール、タラップ付 断熱グラスウール保温材+カラー亜鉛鉄板仕上	-	-	-	1	R階	
T-2	原液貯蔵タンク	泡消火剤貯蔵加圧タンク 有効貯蔵量 200L 本体 外面錆止め塗装、内面エポキシ塗装	-	-	-	1	1階	
HB-4A	補助散水栓	埋込型補助散水栓(総合盤型) 参考寸法 600×200×1000H 付属品 消火栓弁、ホース、ノズル、他一式	-	-	-	14	各階	
HB-4AS	補助散水栓	埋込型補助散水栓(総合盤型)、消火器併設型 参考寸法 900×200×1000H 付属品 消火栓弁、ホース、ノズル、他一式	-	-	-	21	各階	
-	移動式粉末消火設備	消火薬剤 第3種粉末(ABC) 33kg ソーラーパネル表示灯付	-	-	-	2	R階	

凡例

記号	名称	備考
FP1	スプリンクラーポンプユニット	
FP2	泡消火ポンプユニット	
①	補給水槽	
②	原液貯蔵タンク	
山	流量計	
田	圧力スイッチ	
M	一次圧力調整弁	
●	アラームバルブセット(泡)	YAVS-100AII型
○	アラームバルブセット(SP閉鎖型)	YAVS-100AII型、80AII型
○	アラームバルブセット(SP開放型)	Y-XVII-125A型
④	スプリンクラーヘッド	72℃ 閉鎖型 1種高感度(下向型)
⑤	スプリンクラーヘッド	96℃ 閉鎖型 1種高感度(下向型)
⑥	開放型スプリンクラーヘッド	
⑦	泡ヘッド	YAH-35T
⑧	感知ヘッド	68℃
⑨	末端試験弁	YMT2型 圧力計、オリフィス
⑩	一斉開放弁	YVB-65型、50型、40型(減圧開)
⑪	一斉開放弁(加圧開)ユニット	YDVK-125型 Y型ストレーナー、ボール弁、電動弁 オートドリフ その他標準附属品一式共
⑫	減圧弁	
⑬	手動起動弁	ME-4型
⑭	混合器	YVHE-A2000型
⑮	フート弁	125A、150A
⑯	フレキシブルチューブ	125A、100A、65A、50A
⑰	補助散水栓	
⑱	放水口格納箱	65A 表示灯回路:別途電気工事
⑲	テスト弁	65A、40A
⑳	送水口	100×65×65 自立双口型
㉑	仕切弁	
㉒	逆止弁	
㉓	スプリンクラー配管	JIS G 3452 SGP
㉔	開放型スプリンクラー配管	JIS G 3452 SGP
㉕	泡消火設備配管	JIS G 3452 SGP
㉖	連結送水管	JIS G 3454 STPG Sch40
㉗	排水管	JIS G 3452 SGP
㉘	配線配管路	耐熱及び耐火配線
㉙	移動式粉末消火設備	
㉚	ABC10型消火器(備品)(収納BOXは建築工事)	
㉛	ABC10型消火器(備品)(消火栓BOXに収納)	
㉜	ABC10型消火器(備品)(SUSBOXは本工事)	
〈注記〉	1. 特記なき電線は、HP1.2mmとする。 2. ポンプと起動盤間の配線は、耐火配線とする。 3. スプリンクラーヘッドの取付には巻出しフレキを使用する。 4. 埋設配管は外面被覆鋼管とする。 5. 凍結防止対策は別途検討事項とする。 6. 泡消火薬剤を放出した場合は、適切な処理を行なうこと。 7. 多目的ホールのスプリンクラーヘッドの取付については別途検討事項とする。	

設計計算書

1. ポンプ揚水量

スプリンクラー設備	閉鎖型 90L/min x 8個同時 = 720L/min 開放型 90L/min x 21個同時 = 1,890L/min 計 2,610L/min
泡消火設備	35L/min x 26個同時 x 1.1 = 1,000L/min

2. ポンプ揚程

	閉鎖型スプリンクラー設備	補助散水栓
実揚程	42.80m	42.80m
配管摩擦損失	42.93m	2.47m
放射圧力損失	10.00m	25.00m
アラーム弁損失	5.00m	5.00m
ホース損失	-	12.00m
小計	100.73m	87.27m
合計 x 1.1	111.00m	96.00m

	泡消火設備	開放型スプリンクラー設備
実揚程	7.10m	42.80m
配管摩擦損失	13.53m	15.47m
放射圧力損失	25.00m	10.00m
アラーム弁損失	5.00m	5.00m
混合器損失	2.6m	-
小計	53.23m	73.27m
合計 x 1.1	59.00m	81.00m

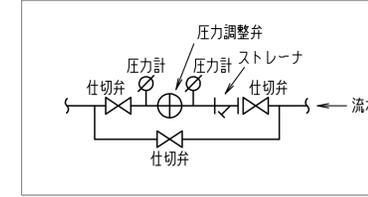
3. 水源水量

スプリンクラー設備	閉鎖型 1.6m³ x 8個同時 = 12.8m³ 開放型 1.6m³ x 21個同時 x 1.6 = 53.76m³
泡消火設備	35L/min x 26個同時 x 1.1 x 10min = 10.0m³ (加算は免除)
合計	(12.8m³ + 53.76m³) x 1.2 = 79.9 → 80m³(有効)

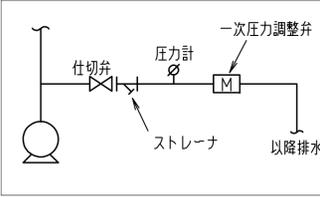
4. 泡液流量(水成膜泡 2%型)

(35L/min x 26個同時 x 10min + 500L(配管内容積)) x 0.02 = 192.0L
200L貯蔵とする。

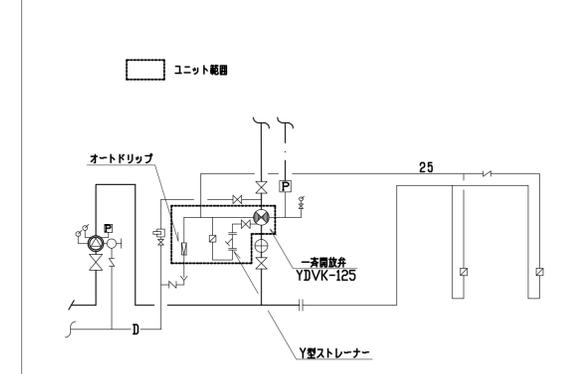
減圧弁廻り詳細図



一次圧力調整弁廻り



開放型スプリンクラー設備(開放弁廻り)

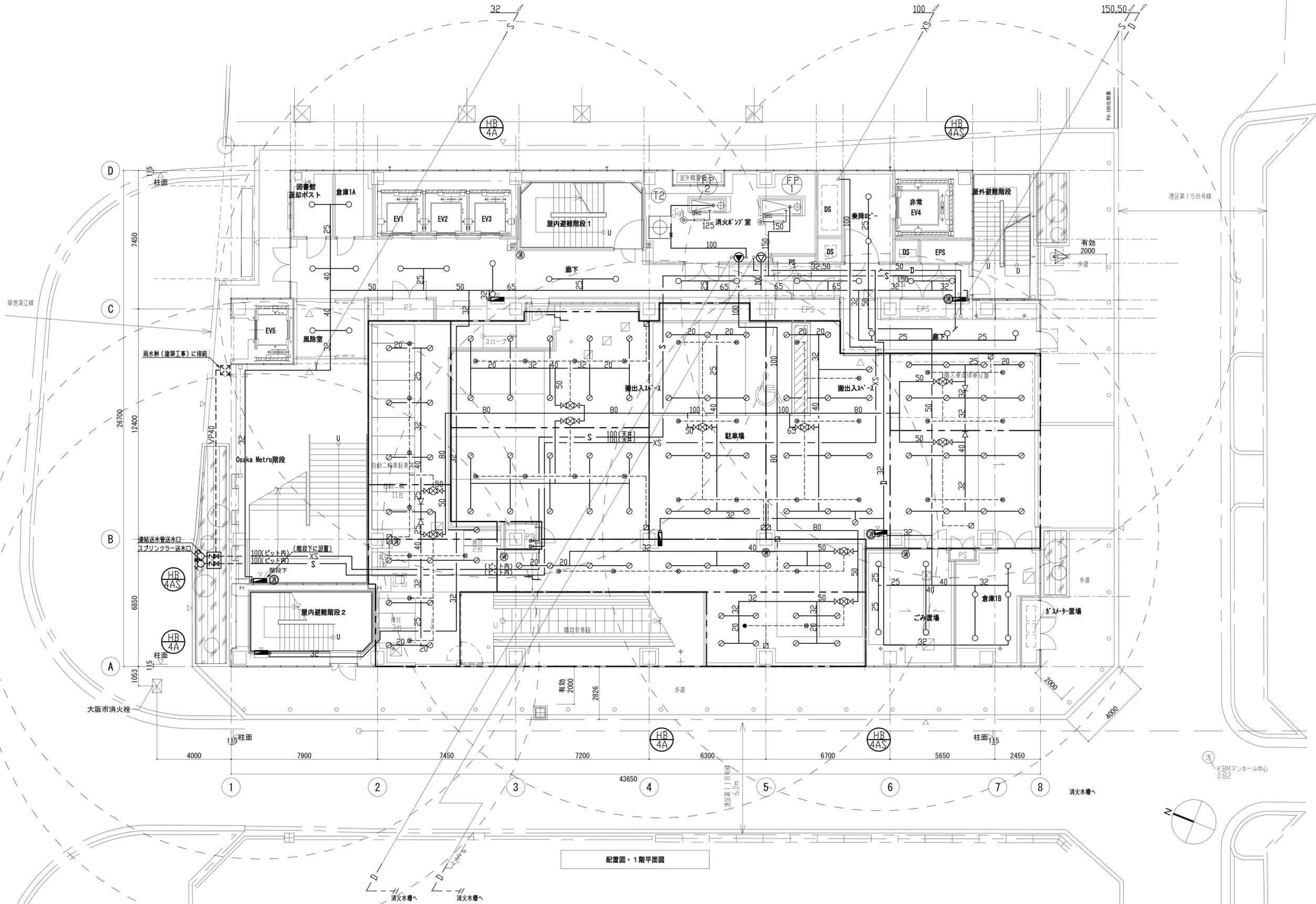


別途工事

- AC220V引込
- 自火報警等への移信工事
ポンプ運転 呼水槽減水
過電流負荷 アラーム表示 SP・・・9L
OS・・・1L
泡・・・1L
- 音響警報装置

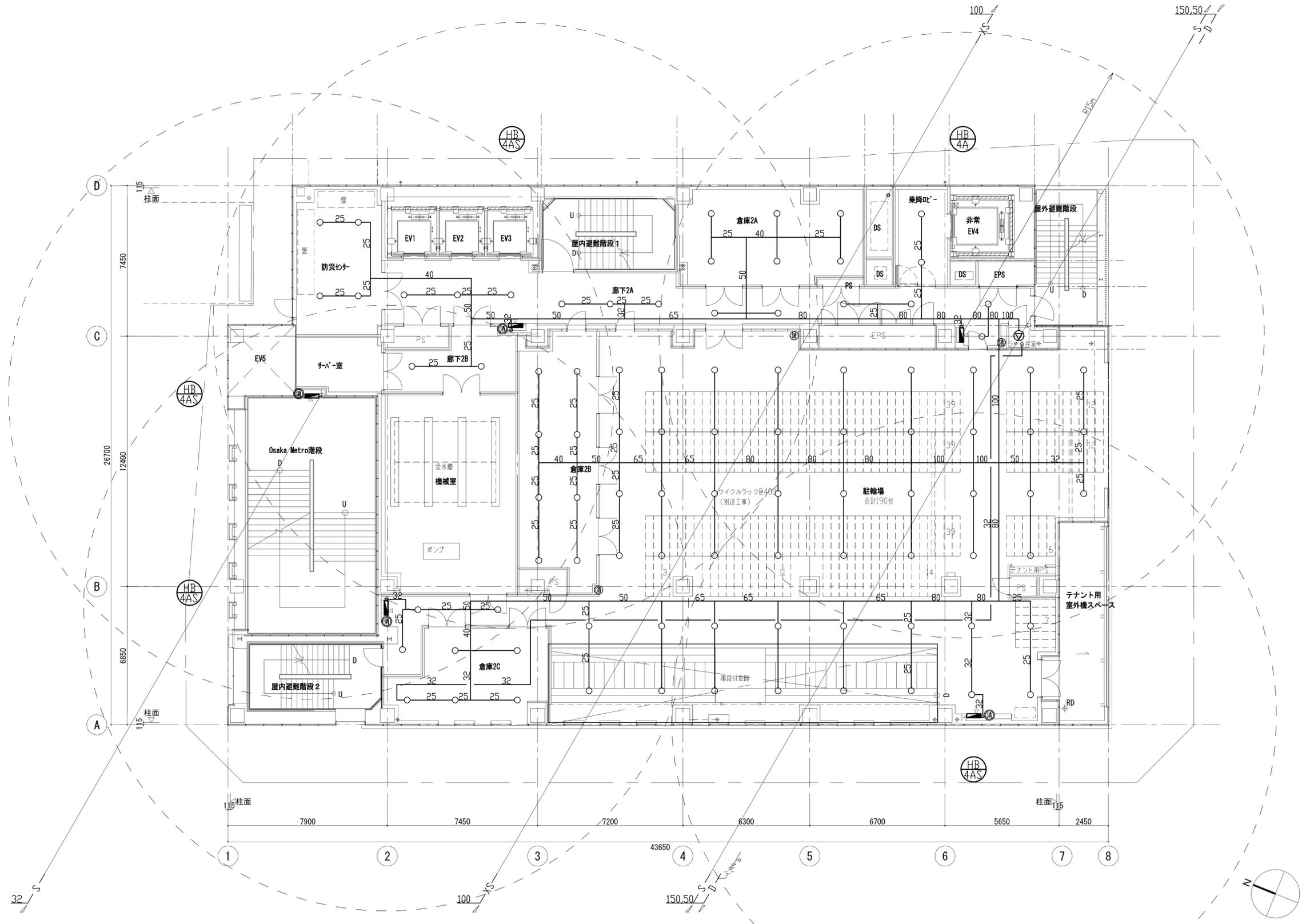
- 以降給水工事
- 以降排水工事

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和 元 年度
図面名称	消火設備 機器表・凡例	図面サイズ: A1
縮尺	-	図面番号 No. 90 (106 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 天建設



配置図・1階平面図

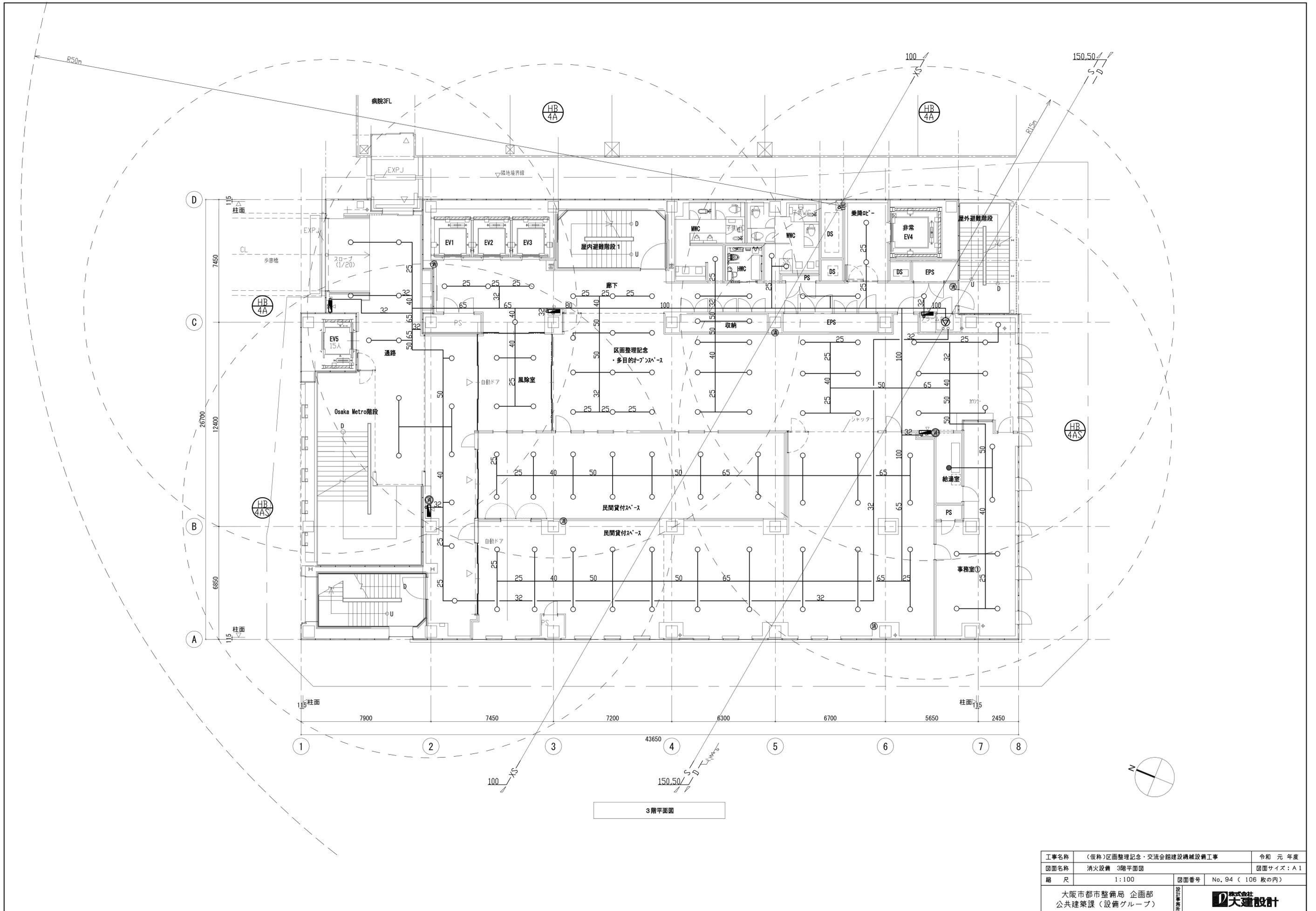
工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	消火設備 1階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No. 92 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		設計事務所 天建設計



2階平面図

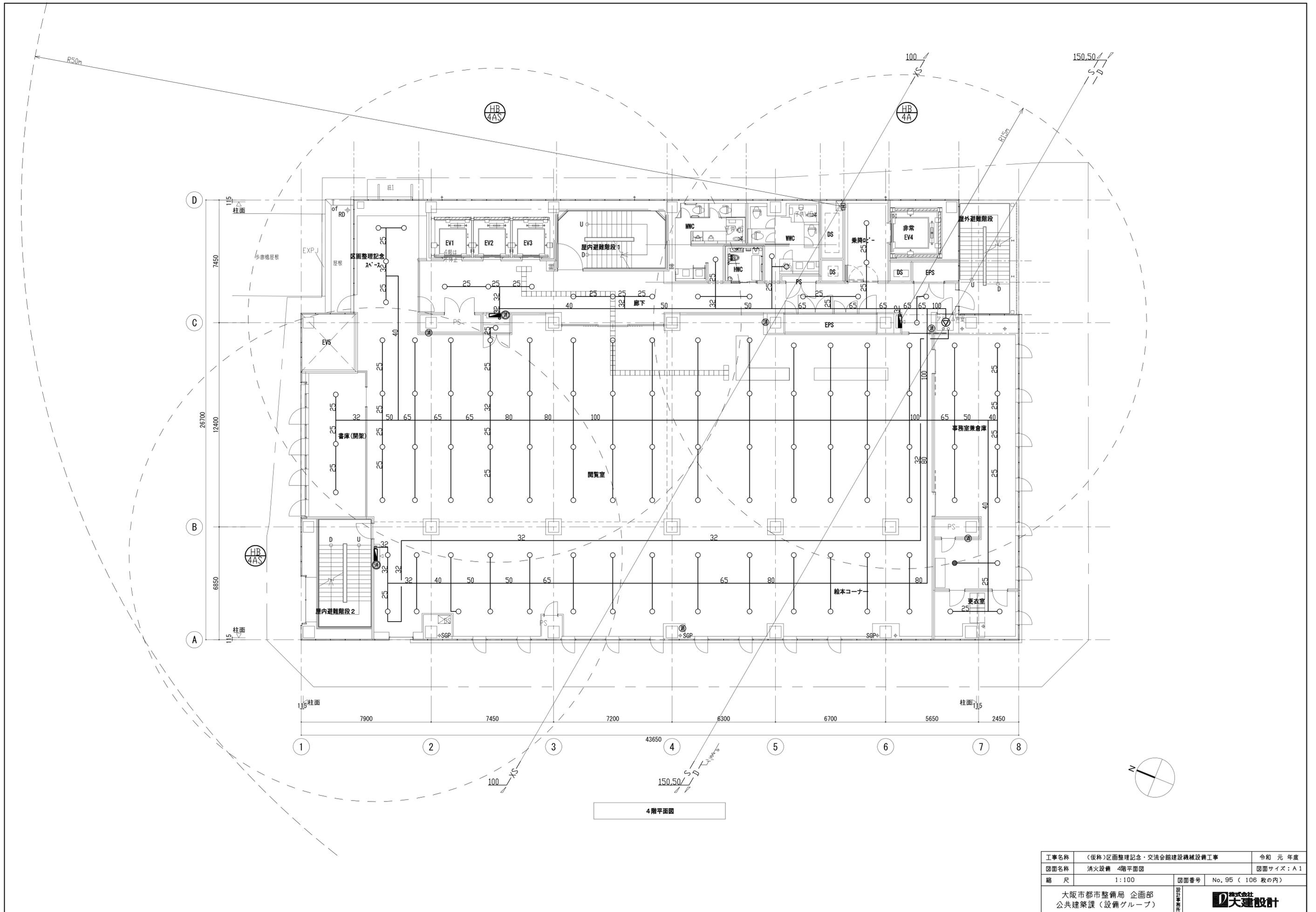
- 凡例
- ① ABC10型消火器（備品）（収納BOXは建築工事）
 - ② ABC10型消火器（備品）（消火栓BOXに収納）
 - ③ ABC10型消火器（備品）（SUSBOXは本工事）

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	消火設備 2階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No. 93 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		

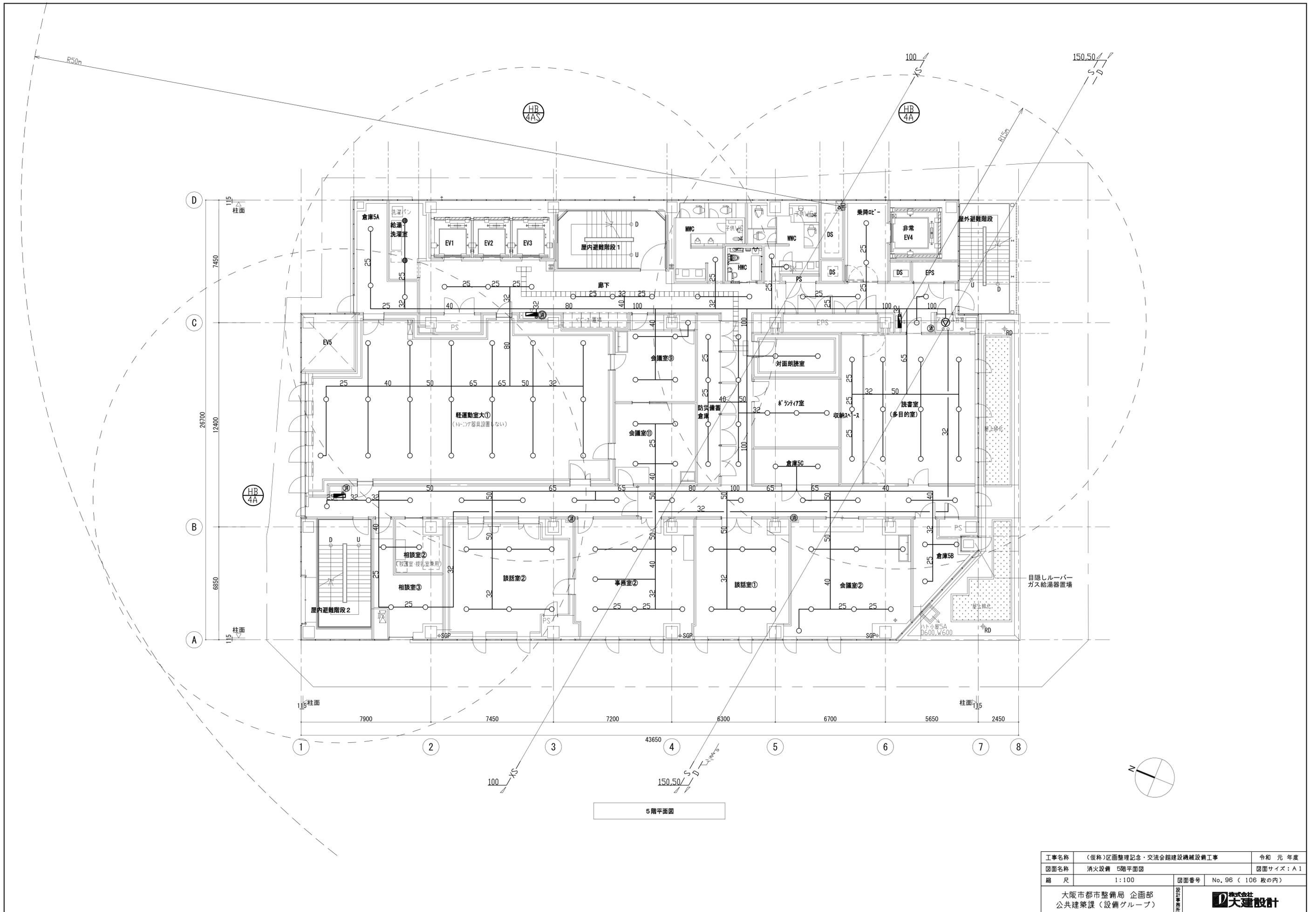


3階平面図

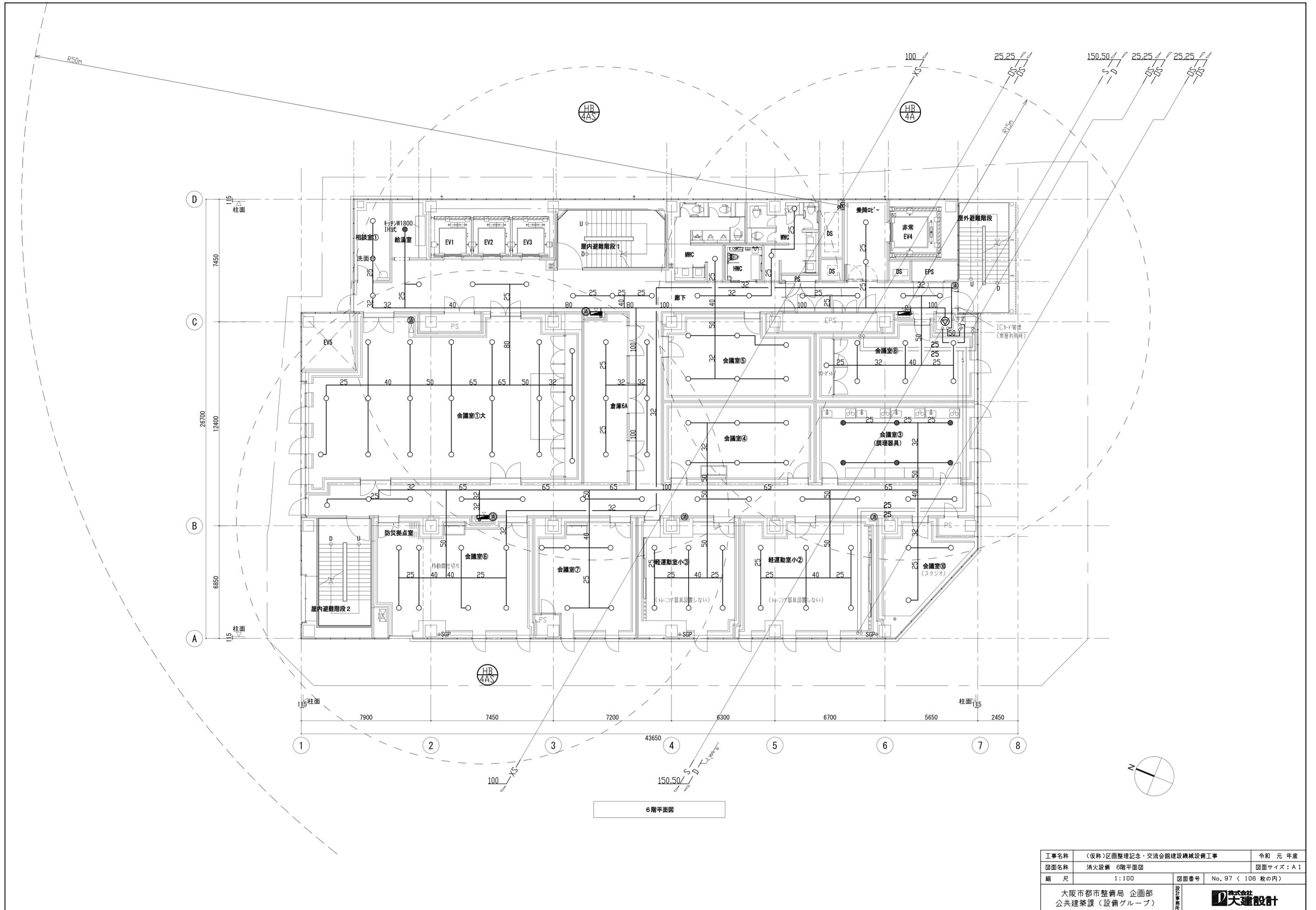
工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	消火設備 3階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No. 94 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		設計事務所 天建設計



工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和 元 年度
図面名称	消火設備 4階平面図	図面サイズ: A 1
縮尺	1:100	図面番号 No. 95 (106 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		

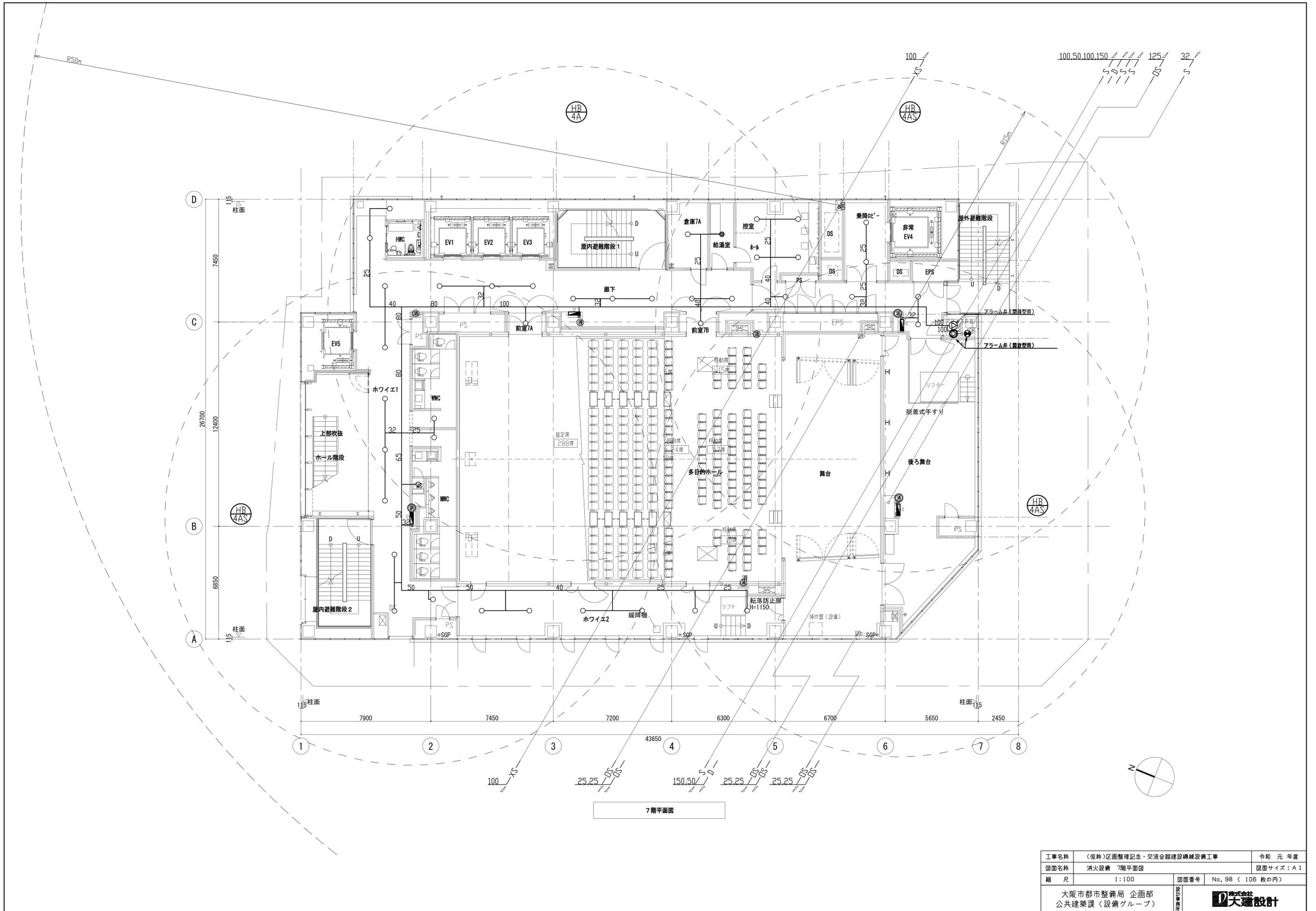


工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和 元 年度
図面名称	消火設備 5階平面図	図面サイズ: A 1
縮尺	1:100	図面番号 No. 96 (106 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		

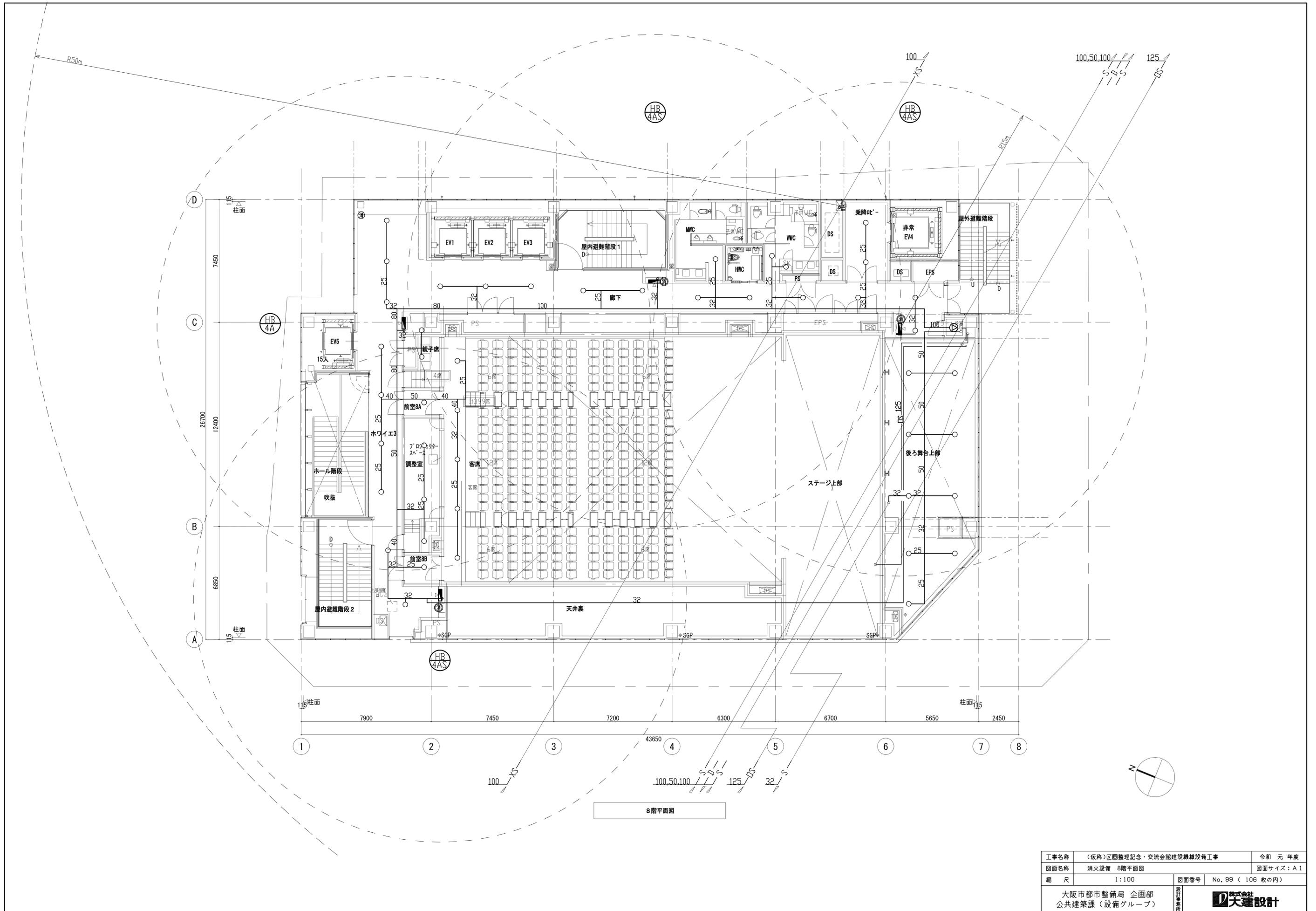


6階平面図

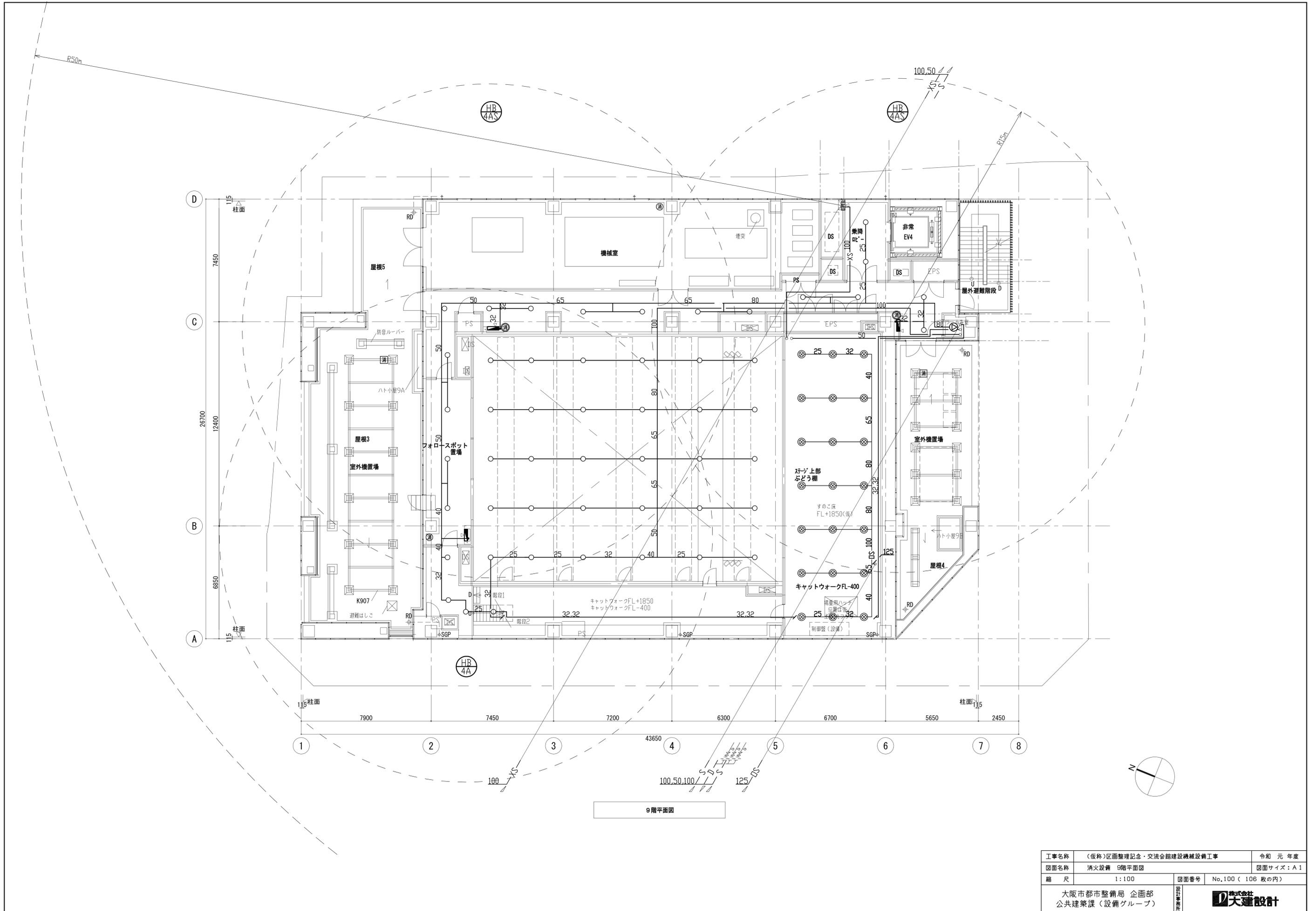
工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	消火設備 6階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No. 97 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 大建設



工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	消火設備 7階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No. 98 (106枚の内)
大阪府都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		設計事務所 株式会社 天建設計

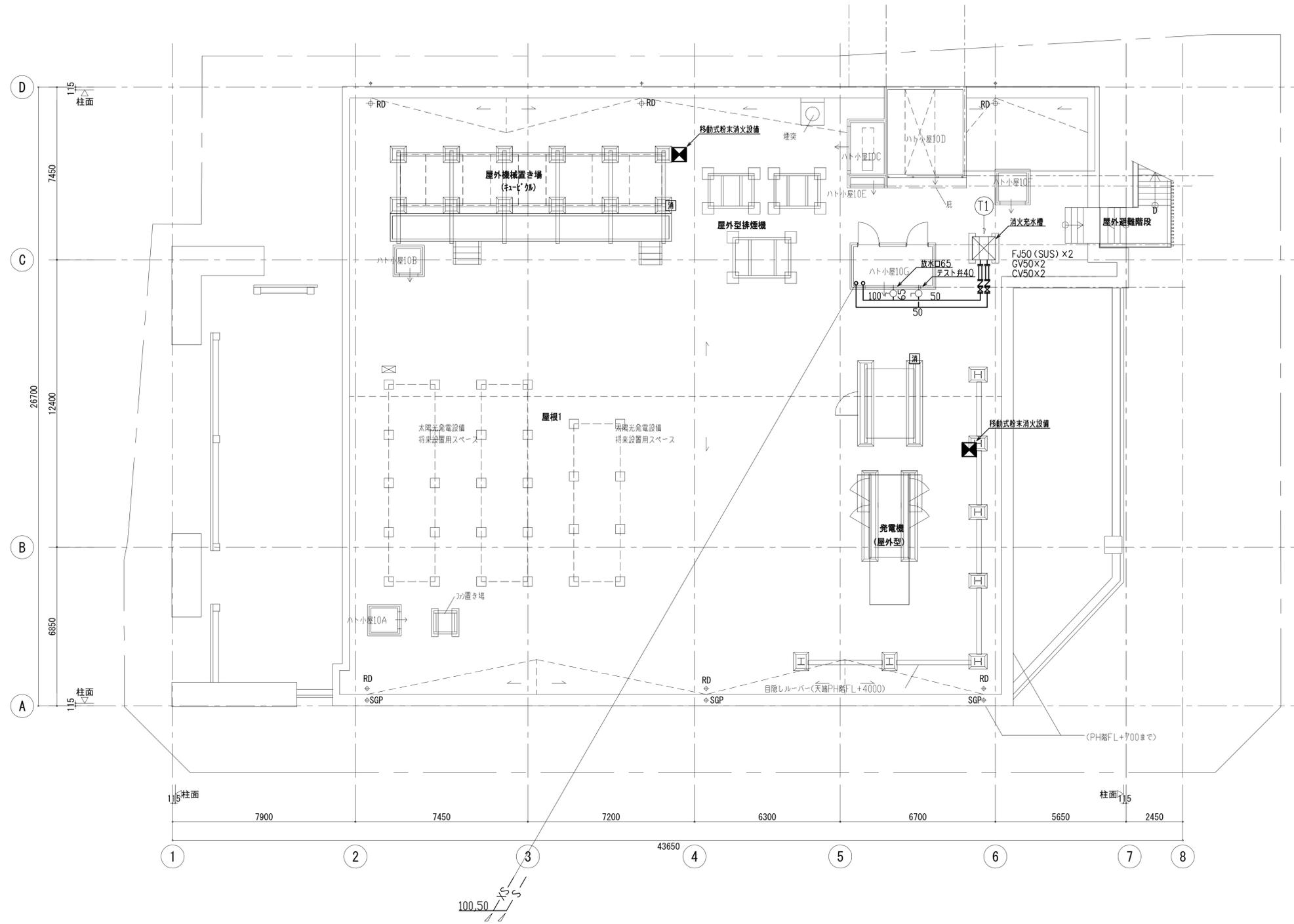


工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和元年度
図面名称	消火設備 8階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No. 99 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		

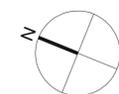


9階平面図

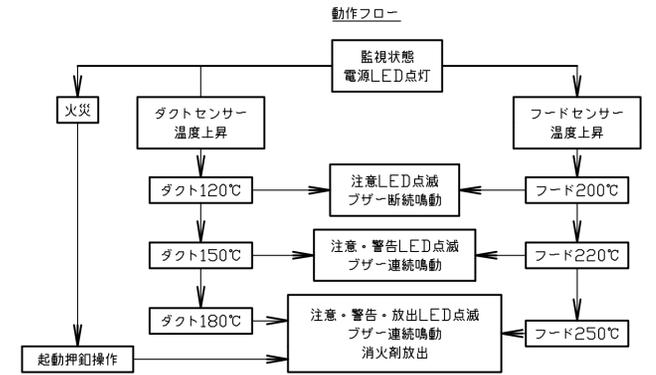
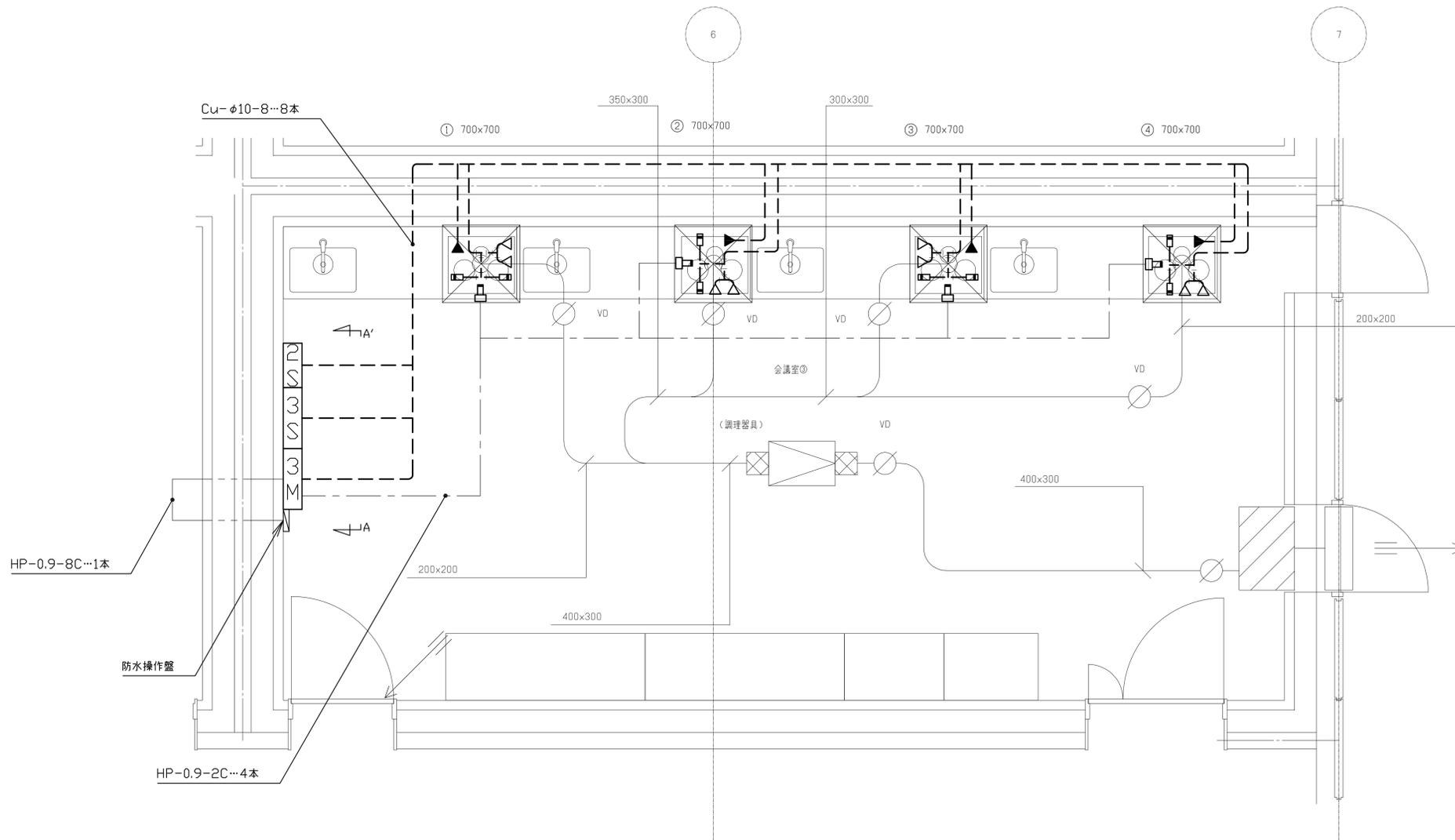
工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和 元 年度
図面名称	消火設備 9階平面図	図面サイズ: A1
縮尺	1:100	図面番号 No.100 (106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		



屋根伏図



工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和 元 年度
図面名称	消火設備 R階平面図	図面サイズ: A 1
縮尺	1:100	図面番号 No.101 (106 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		

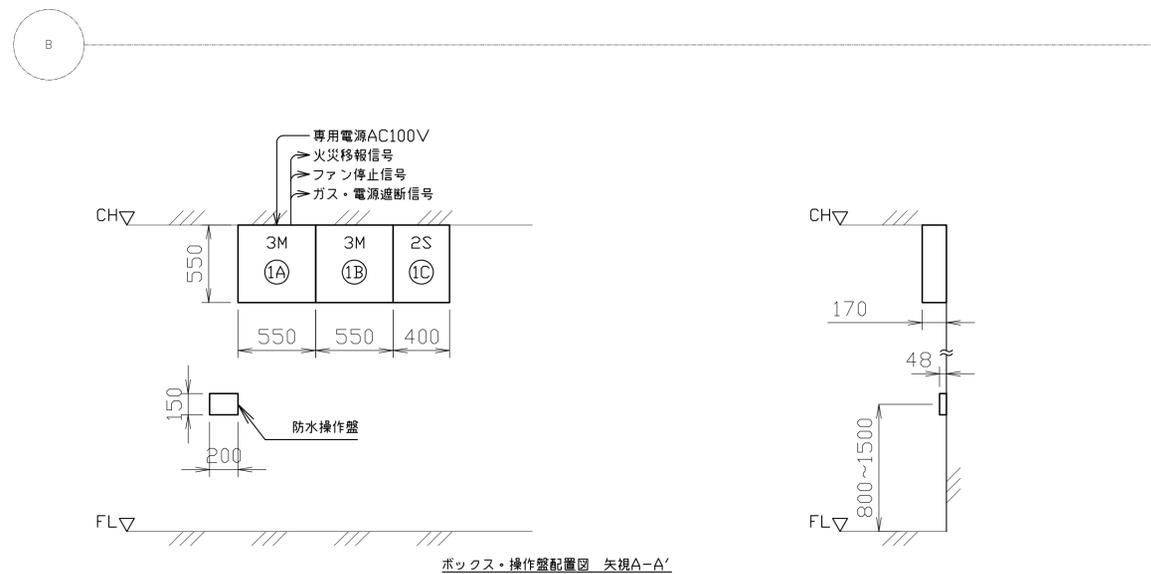


凡例

記号	名称	備考
▷	大型レンジ・グリルスフィルター・ダクト用ノズル	
◁	小型レンジ・フライヤー用ノズル	
□	フード用ノズル	
◻	ダクト内メインセンサー	
◻	フード下補助センサー	
◻	操作盤	
3M	3本用メインボックス	強化液消火装置 3.2L×3
2M	2本用メインボックス	強化液消火装置 3.2L×2
3S	3本用サブボックス	強化液消火装置 3.2L×3
2S	2本用サブボックス	強化液消火装置 3.2L×2
---	消火薬剤用銅配管	φ10
----	HPケーブル(8C)	操作盤↔メインボックス間
----	HPケーブル(2C)	センサー↔メインボックス間

用途別機能表

用途	フード・ダクト用	レンジ・フライヤー用	大型レンジ用
最大防護寸法 (mm)	フード: 1800×3200 ダクト: 3000cm2×5m	レンジ: 1200×1200 フライヤー: 700×1200	レンジ: 1200×2500
消火剤型式		強化液 薬筒: 6~1号	
最大導管長(m)	11m	13m	13m
ノズル凡例	▷×2 ◻×2	▷×1	▷×2



台数表

No.	フード寸法 (mm) W × D	ダクト寸法 (mm)※1 W × D	厨房機器		機器寸法 (mm) W × D	自動消火装置 (台数)				ボックス(記号)				
			名称	台数		FRS	RLC	HDA	別センサー・ファン・操作盤	3M	2M	3S	2S	
①	700×700	200×200	IHクッキングヒーター 電気ファンレンジ	1	-	1	-	1	1	-	1A	-	1B	1C
②	700×700	400×300	IHクッキングヒーター 電気ファンレンジ	1	-	1	-	1	1	-	1	-	-	-
③	700×700	300×300	IHクッキングヒーター 電気ファンレンジ	1	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-
④	700×700	200×200	IHクッキングヒーター 電気ファンレンジ	1	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-

※1 ダクト寸法は対象ダクトの最大防護寸法(ダクト吸込口から5m)以内での最大寸法とする。

※2 フライヤーについては防護の範囲は油槽とする。

自動消火装置仕様

- ・フード、ボックス、操作盤の近くには点検口を設置すること。(建築工事)
- ・停電時バックアップ電源付きとする。
- ・断線短絡監視機能付きとする。
- ・「フード・ダクト専用簡易自動消火装置の技術基準」に適合した(財)日本消防設備安全センター性能認定品とする。
- ・消火剤は強化液消火剤とする。

(注記) 本図は参考図とする。

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和 元 年度
図面名称	フード消火設備 平面図・仕様書	図面サイズ: A1
縮尺	1:2.5	図面番号 No.102 (106 枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課 (設備グループ)		株式会社 天建設計

<p>弁天町区画整理記念・交流会館 多目的ホールおよび周辺諸室 音響関係工事特記仕様書</p> <p><特記事項> 各工事関係施工者は、下記に示す音響性能目標値の実現に努める 多目的ホールの残響時間目標値 舞台音響反射板設置時 約1.2秒程度(中音域、着席時)</p> <p><特記仕様> 本特記仕様書は、弁天町区画整理記念・交流会館多目的ホールおよび周辺諸室に関して、所期の音響性能を実現するために必要な遮音、吸音構造の材料の選定、施工等、音響関係工事について規定するものである。</p> <p>1. 共通事項 1.1. 音響性能目標値の実現について 各工事関係施工者は、特記事項および本特記仕様書に示す音響性能目標値の実現に努める。本多目的ホールは音響性能が重要であるため、音響に関わる施工検討を適宜一定期間継続して実施する。</p> <p>1.2. 設計・仕様変更の報告と承諾について 施工段階において、種々の理由から設計図書の内容と異なることとなった施工を行わざるを得なくなった場合、その理由について文章をもって報告し、音響設計部門の指示、承諾を受ける。</p> <p>1.3. 施工図の承諾について 遮音構造、吸音構造、防振構造等、音響に関係した建築施工図および空調設備、電気音響設備等の建築設備施工図については、施工前に音響上のチェックを受ける。</p> <p>1.4. 音響関連材料等の音響性能および調査 次のような音響関連材料のうち特殊なものについては、音響性能試験(JIS等による)のデータの提出を求めることがある。音響性能データがない材料については測定を実施する。 (1) 防音建具(枠含む)の遮音性能(JIS A 1416に基づく) (2) 客席椅子の吸音力 (3) 消音器等の消音性能 (4) その他特に必要と認められるもの</p> <p>1.5. 施工上における音響関連工事に関わる確認、検討について 音響関連工事に関わる確認、検討については、工事監理者の了承した音響専門機関が工事監理者に協力し、技術協力・指導を行う。この音響関連工事に関わる技術協力、指導費用、改善対策工事費用は施工者の負担とする。</p> <p>1.6. 検査・測定について 設計で意図した音響性能が得られているかどうか、完工時及び施工中において、音響専門機関において検査・測定をおこなう。検査・測定の費用は施工者の負担とする。 その結果、設計で意図した音響性能が得られていない場合には、原因を明らかにし改善対策についての検討をおこなう。検査・測定の詳細は別にこれを定める。 (1) 施工中に検査・測定を実施する場合、各工事関係者は随時、開口や隙間をふさぐ等の協力を努める。 (2) 完工時の検査・測定の際、備品納入者は、必要な備品類が備え付けられた状態で検査・測定が実施できるように、備品納入時期の調整をおこなう。 (3) 上記(1)、(2)および意図した音響性能が得られていない場合の改善対策にかかる工事費用は施工者負担とする。</p> <p>2. 建築工事 2.1. 遮音・防振構造 遮音工事にあたり、隙間処理、気密性の確保、ブリッジ回避等、細心の注意を払って施工する。 (1) 材料 a. 指定のものを必ず使用する。不明な場合は、工事監理者(必要に応じて音響専門機関を含む、以下同様)に見本を提出し承諾を受ける。 b. グラスウール、ロックウール等の吸音材については、用途種別、厚さ、密度について指定のものを使用する。 (2) 隙間の防止と気密性の確保 a. コンクリート躯体の"豆板" "す"等は、はつたあとモルタルで補修をおこなう。 b. 配電盤、非常用設備等の設置により、遮音壁の厚さに変化が生じた場合は、必ず背面に遮音層を追加する。 c. コンクリートブロックと躯体間、ボード等遮音構造を意図した部位間の隙間、ALCの目地等、遮音壁の取り合い部の隙間に対しては、構成材料のもつ遮音性能が十分に得られるよう隙間を処理する。隙間の処理は、(油性)コーキング材充填、モルタル充填、石膏ボード増貼、鉛シート貼等により入念におこなう。 d. 遮音層を貫通する吊りボルト、支持金物等との隙間に対しては同様にコーキング又はグラスウール充填等遮音種別の仕様にあわせて施工する。 e. ダクト、パイプの遮音層貫通部は、隙間がないよう施工する。 f. 防音扉の扉枠と躯体、サッシと躯体の間の隙間に対しては、モルタル詰めをおこなう。 g. 防音扉周辺のゴムパッキンの調整、エアタイト及びグレモンハンドルの引き寄せの調整は、特に念入りに行い気密性を保つようとする。 h. 防音扉の戸当り、召し合わせの調整は、責任を持っておこなう。</p>
--

<p>(3) 浮き構造の施工 a. 防振層と躯体との間には、ブリッジがないようにする。 b. 浮き構造をダクト、パイプ等が貫通する場合は、ブリッジが生じないようにする。 c. 防振ゴムは、均等に正規の加重がかかるように調整する。 d. 防振支持系の固有振動数は1.0Hz以下とする。 e. 詳細図とともに計算書を提出する。</p> <p>2.2. 吸音構造及びピリツキの防止 (1) 吸音構造 a. 必ず指定のものを使用する。不明の場合には、必ず工事監理者に見本を提出し承諾を受ける。 b. とくに間違いやすい材料は、つぎのとおりである。 イ) グラスウール、ロックウール ロ) 有孔板(孔径、ピッチ) ハ) 若綿成形板(メーカー、施工法により吸音特性が異なる) ニ) 木毛セメント板と木片セメント板(普通級と硬質級) ホ) 吹付材 c. グラスウール、ロックウール等の吸音材は、必ずJIS A 6301の吸音材料に規定された製品を使用する。厚さ、密度についても指定のものを使用する。 d. 有孔板の孔径、孔中心間隔、リブの寸法、ピッチは必ず指定されたものを使用する。 e. 有孔板の裏打ち原紙については、特に指示のない限り、取りはずしてから施工する。 f. 吸音材、有孔板等の表面の塗料及び塗装方法については、予め工事監理者の承諾を得る。 g. 有孔板、無孔板等の背後の空気層については、指示どおり吸音材と躯体との間に設ける。特に厚さを確保することに留意する。 h. 有孔板、グラスウール、空気層の組み合わせによる吸音構造については、特にお互いの位置関係に注意し、これについては詳細図を作成し、予め工事監理者の承諾を得る。 1. 木毛セメント板、木片セメント板については、厚さや製品の違いにより特性に差が生じやすいため、予め工事監理者の承諾を得る。 (2) ピリツキの防止 内装およびその下地は、ピリツキ音が生じない施工とする。また、置かれたビス等の塵材がピリツキを誘引することがあるので置かれがないよう留意する。</p> <p>3. 建設設備工事 3.1. 室内許容騒音目標値 本体工事特記仕様書と齟齬がある場合、本音響特記仕様書が優先する。多目的ホールの室内許容騒音の目標値はNC-25程度とする。会議室①大、対面朗読室についてはNC-30程度</p> <p>3.2. 機器の選定と騒音・振動データの提出 a. 空調、給排水衛生、電気、昇降設備等の機器類は、できるだけ騒音及び振動の少ない機器を選定する。なお、必要に応じて運転時の騒音、振動のデータの提出を求めることがある。 b. 送風機・ポンプ、冷凍機、エレベータ、エスカレータなどの主要な設備機器については、騒音、振動についてのデータを提出する。特に送風機については、発生騒音のパワーレベル資料を提出する。その結果異常が認められた場合には変更をするか、あるいはメーカー側においてしかるべき対策をおこなう。 c. 音響用回線、特にマイクロホン回線へは電源幹線系統、調光系統、インバータ系統、スピーカー系統などから、ノイズ等が混入しないように注意する。ノイズ等が発生する機器については、電源側にノイズカットトランスの設置等の対策を施す。</p> <p>3.3. 工場検査 送風機等主要な機器については、工場検査時に工事監理者立会いのもと発生騒音、振動の検査・測定を行う。</p> <p>3.4. 機器、ダクト、パイプの防振工事 a. 騒音及び振動となり得るホール周辺の機器、ダクト、パイプ、変圧器、昇降設備機器等は原則として防振をおこなう。その範囲については、工事監理者の指示に従う。 b. 各防振材については、できるだけ所定の荷重が均等にかかるよう調整する。 c. 機器の防振支持構造については、詳細図とともに計算書を提出する。</p> <p>3.5. ダクト、パイプの躯体及び遮音構造の貫通 a. 原則として、遮音構造への貫通は行わないものとする。 b. 躯体への振動伝達の防止、隙間よりの音洩れの防止を図る。 c. 浮き構造貫通部については、ブリッジが生じない構造とする。</p> <p>3.6. 空調、換気設備 (1) ダクト a. 風速の過大、風量のアンバランス等によって、渦流音が発生しないようなダクト配置、ダクトサイズを選定する。 b. 吸音ダクトは、吸音エルボまたは吸音チャンパとし、必要に応じて消音器、内装ダクト等を用いる。吸音ダクトの内貼り材料は、とくに指示がない限り、厚さ50mm以上、密度32kg/m³以上のグラスウールまたはロックウールとする。</p>
--

<p>c. ホール系統の空調用SAダクトの取付は共仕記載の適用表示厚さの1サイズアップとし、下記を適用する。 ダクト長辺長さ 適用表示厚さ 450以下 0.6 450を超え750以下 0.8 750を超え1,500以下 1.0 1,500以上 1.2</p> <p>(2) 風量調整 施工後は風量を調整し、その結果を工事監理者に報告する。</p> <p>(3) 施工上の注意点 a. 送風機騒音は、設計目標値を満足するものでなければならない。 b. 吸音不足のダクトからの音洩れによる障害があってはならない。そのおそれがある場合には、吸音ダクトの設置、機器やダクトの遮音をおこなう。 c. ダクトを通してのクロストークのおそれがある箇所には、吸音ダクトを設置する。 d. 併接ダクトを通して外部騒音侵入、風音の発生があると考えられる場所には、吸音ダクト又はガラリチャンパー内に遮蔽板を設ける。 e. 室外機、クーリングタワー、外気取り入れ口、排気口からの騒音は境界線において環境基準を満足するものでなければならない。</p> <p>4. 舞台設備工事 4.1. 室内許容騒音目標値 本体工事特記仕様書と齟齬がある場合、本音響特記仕様書が優先する。多目的ホールの室内許容騒音の目標値はNC-25程度とする。会議室①大、対面朗読室・・・NC-30程度</p> <p>4.2. 舞台機構・舞台照明設備 a. 舞台機構、舞台照明設備に関連する機器は、できるだけ騒音及び振動の少ない機器を選定する。 b. それ等の機器については必要に応じて騒音及び振動データの提出を求めることがある。その結果異常が認められた場合はしかるべき対策を講じる。 c. 吊り物、昇降装置の作動時に異常騒音の発生がないことを確認する。 d. 照明、調光器の動作時に異常騒音の発生がないことを確認する。 e. 音響用回線、特にマイクロホン回線へは電源幹線系統、調光系統、インバータ系統、スピーカー系統などから、ノイズ等が混入しないように注意する。ノイズ等が発生する機器については、電源側にノイズカットトランスの設置等の対策を施す。</p> <p>4.3. 舞台音響設備 (1) 電気音響設備動作特性の目標値 電気音響設備動作特性の目標値を以下に示す。このときの動作スピーカーは固定設備における拡声用スピーカーとする。舞台機は設置時、状態(式典、講演会形式)にて実施する。 a. 伝送周波数特性 ばらつき10dB以内 (ピンクノイズ信号にて、160~5kHz内の1/3オクターブ中心周波数) b. 音圧レベル分布 ばらつき6dB以内 (中心周波数4kHzオクターブバンドノイズ信号にて) c. 安全拡声利得 -10dB以上 (舞台中央・司会者位置を擬似音源とし、ピンクノイズ信号にて) d. 最大再生音圧レベル 95dB(c)以上 (ピンクノイズ信号にて) e. 残留雑音 NC-20以下 (最大再生音圧レベル95dB(c)を得られる状態にて、調整卓チャンネルフェーダを絞り切った状態)</p> <p>4.4. 機器取り付け及び調整 (1) スピーカ取り付けにあたっての注意点 a. スピーカ本体、吊り装置等が建物躯体、内装などに接触しないようにする。 b. 内装開口面との取り付けについては、十分に打ち合せを行って施工する。 c. ホーンスピーカーは角度の調整が容易にできるよう余裕を十分にとり取り付ける。 d. 設置方法によっては防振支持をおこなう。 (2) 各機器及び据付け工事 a. 各機器の選定については工事監理者の承諾を得る。音響機器はモデルチェンジのサイクルが短いため、竣工時に出来る限り新しい機器を納入できるように柔軟に対応する。 b. とくに調整室内各機器間、操作盤および端子盤の接続については、使用材料、施工方法等、施工詳細図を提出し、工事監理者の承諾を得る。 c. 各機器類は完工までにほこり、過度の湿気、熱気等により損傷が与えられないように対策する。 (3) ノイズの防止 a. 音響用回線、特にマイクロホン回線へは電源幹線系統、調光系統、インバータ系統、スピーカー系統などから、ノイズ等が混入しないように注意する。ノイズ等が発生する機器については、電源側にノイズカットトランスの設置等の対策を施す。 b. 音響用回線ケーブル、各線間の離隔、ボンディングアース等の必要な対策を確実に実施をおこなう。音響用回線と他の回線を平行して配線する場合は特に注意し、必要な離隔距離をとる。</p>
--

<p>(4) 調整 機器間を接続し正常動作を確認した後、各機器の入出力レベルの設定、音量や音質を調整し、設計で意図した性能を満足させること。場合によってはスピーカーの向きや位置を変更することもあるので、余裕をもった工程とすること。調整は、物理特性の確認とともに、聴感によっても判断する。</p> <p>4.5. 検査、調整および設備取扱い説明 a. 製作機器について、現場搬入前に所定の性能に調整した後、工事監理者立会いのもとに検査測定をおこなう。各機器の調整後の検査、測定結果報告書は立会い検査時に提出する。 b. 機器設置工事完了後、仕様書・調整基準に従って総合的なテストをおこない、正常な動作を確認する。 c. 本工事完了引渡後、操作マニュアルを作成し、担当者に対して設備機器の取扱い及び操作方法、その他説明を要する場合は、協議の上、一定期間説明をおこなう。</p> <p><音響検査・測定仕様> 1. 工事完了後の検査・測定 工事完了後、下記の要領にて前述1.5に指定する音響専門機関(1.6項参照)により音響検査測定をおこない、その結果を工事監理者に報告をする。</p> <p>2. 検査・測定計画書の作成 検査・測定実施者は、事前に検査・測定計画書の作成を行い工事監理者に提出し、その承諾を得てから検査および測定を実施するものとする。</p> <p>3. 備品納入時期と測定時期の調整 完工時の検査・測定の際、備品納入者は、必要な備品類が備え付けられた状態で検査・測定が実施できるように、備品納入時期の調整をおこなう。</p> <p>4. 対象室および検査・測定項目 <多目的ホールおよびその周辺></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="10">検査・測定項目</th> </tr> <tr> <th colspan="2">室内音響性能</th> <th colspan="3">建築音響性能</th> <th colspan="5">電気音響設備動作特性</th> </tr> <tr> <th></th> <th>残響時間</th> <th>Eコウタイムパターン</th> <th>空間の遮音性能(対多目的ホール)</th> <th>防音建具の遮音性能</th> <th>空調設備騒音(NC値)</th> <th>ピリツキ試験</th> <th>伝送周波数特性</th> <th>音圧レベル分布</th> <th>安全拡声利得</th> <th>最大再生音圧レベル</th> <th>残留雑音</th> <th>試験試験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多目的ホール</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール用調整室</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>多目的ホール用ワイエ</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><多目的ホール以外の諸室の空間遮音性の測定位置> 下記諸室の防音扉は全て実施。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="8">受音</th> </tr> <tr> <th>7F</th> <th colspan="2">6F</th> <th colspan="2">5F</th> <th colspan="2">4F</th> </tr> <tr> <th></th> <th>多目的ホール</th> <th>会議室①大</th> <th>軽運動室小②</th> <th>会議室①</th> <th>会議室④</th> <th>会議室⑤</th> <th>軽運動室大①</th> <th>談話室②</th> <th>相談室②</th> <th>対面朗読室</th> <th>会議室②</th> <th>会議室③or④</th> <th>図書館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>音源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>6F会議室①大6F</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>6F軽運動室小②</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>④</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6F会議室①大</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>-</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6F会議室④</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6F会議室⑤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5F軽運動室大①</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5F談話室②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>○</td> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5F会議室③or④</td> <td></td> <td>-</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5F会議室⑤</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5F会議室③or④</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		検査・測定項目										室内音響性能		建築音響性能			電気音響設備動作特性						残響時間	Eコウタイムパターン	空間の遮音性能(対多目的ホール)	防音建具の遮音性能	空調設備騒音(NC値)	ピリツキ試験	伝送周波数特性	音圧レベル分布	安全拡声利得	最大再生音圧レベル	残留雑音	試験試験	多目的ホール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	多目的ホール用調整室				○	○								多目的ホール用ワイエ			○		○									受音								7F	6F		5F		4F			多目的ホール	会議室①大	軽運動室小②	会議室①	会議室④	会議室⑤	軽運動室大①	談話室②	相談室②	対面朗読室	会議室②	会議室③or④	図書館	音源														多目的ホール	-	○	○	○							○		○	6F会議室①大6F	○	-	○	○	○			○			○		○	6F軽運動室小②	○	○	-	④	①			○						6F会議室①大	○	○		-	○						○			6F会議室④						○								6F会議室⑤						○								5F軽運動室大①							○							5F談話室②								-	○	②				5F会議室③or④											-	○		5F会議室⑤												○		5F会議室③or④													○
		検査・測定項目																																																																																																																																																																																																																																																																													
	室内音響性能		建築音響性能			電気音響設備動作特性																																																																																																																																																																																																																																																																									
	残響時間	Eコウタイムパターン	空間の遮音性能(対多目的ホール)	防音建具の遮音性能	空調設備騒音(NC値)	ピリツキ試験	伝送周波数特性	音圧レベル分布	安全拡声利得	最大再生音圧レベル	残留雑音	試験試験																																																																																																																																																																																																																																																																			
多目的ホール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																			
多目的ホール用調整室				○	○																																																																																																																																																																																																																																																																										
多目的ホール用ワイエ			○		○																																																																																																																																																																																																																																																																										
	受音																																																																																																																																																																																																																																																																														
	7F	6F		5F		4F																																																																																																																																																																																																																																																																									
	多目的ホール	会議室①大	軽運動室小②	会議室①	会議室④	会議室⑤	軽運動室大①	談話室②	相談室②	対面朗読室	会議室②	会議室③or④	図書館																																																																																																																																																																																																																																																																		
音源																																																																																																																																																																																																																																																																															
多目的ホール	-	○	○	○							○		○																																																																																																																																																																																																																																																																		
6F会議室①大6F	○	-	○	○	○			○			○		○																																																																																																																																																																																																																																																																		
6F軽運動室小②	○	○	-	④	①			○																																																																																																																																																																																																																																																																							
6F会議室①大	○	○		-	○						○																																																																																																																																																																																																																																																																				
6F会議室④						○																																																																																																																																																																																																																																																																									
6F会議室⑤						○																																																																																																																																																																																																																																																																									
5F軽運動室大①							○																																																																																																																																																																																																																																																																								
5F談話室②								-	○	②																																																																																																																																																																																																																																																																					
5F会議室③or④											-	○																																																																																																																																																																																																																																																																			
5F会議室⑤												○																																																																																																																																																																																																																																																																			
5F会議室③or④													○																																																																																																																																																																																																																																																																		

<p>5. 検査・測定方法 (1) 室内音響性能の測定 a. 残響時間 舞台中央に設置した無指向性音源スピーカー(1.2面体スピーカー)を使用し、客席代表点(3箇所以上)にて125~8kHzのオクターブバンド周波数毎に求めた残響波形から残響時間を読み取る。 b. エコウタイムパターン 舞台中央に設置した無指向性音源スピーカー(1.2面体スピーカー)を使用し、客席代表点(3箇所以上)にて音響残響波形(エコウタイムパターン)を観測する。</p> <p>(2) 建築音響性能の測定 a. 空間の遮音性能 JIS A 1417「建築物の空気音遮断性能の測定方法」に準ずる。音源側でスピーカーから中心周波数63~4kHz オクターブバンドノイズを発生させ、音源側および受音側の代表点(原則3箇所、至規模に準じて増減)でオクターブバンドレベルを測定し、その差から室間平均音圧レベル差として遮音性能を求める。 b. 防音建具の遮音性能 JIS A 1417「建築物の空気音遮断性能の測定方法」に準ずる。音源側でスピーカーから中心周波数63~4kHz オクターブバンドノイズを発生させ、音源側および受音側の代表点(原則2箇所、室および建具規模に準じて増減)でオクターブバンドレベルを測定し、その差から特定場所間平均音圧レベル差として遮音性能を求める。 c. 空調設備騒音(NC値) 空調機運転状態における各室のオクターブバンドレベルを代表点数で測定し、その値からNC値を求める。 d. ピリツキ試験 設備スピーカーから50Hz~2000Hzまでの正弦波を発生させ、びりつく箇所がないことを聴感上にて確認する。</p> <p>(3) 電気音響設備動作特性の測定 動作スピーカーは、固定設備における拡声用スピーカーとする。(その他、) a. dの項目については拡声用に加えて効果音用スピーカーを個別に動作させた状態に於いても実施する。 a. 伝送周波数特性 各スピーカーからピンクノイズ信号を再生させ、舞台上代表点(2箇所以上、拡声音用および効果音用スピーカーを動作時)および客席代表点(6箇所以上)において、31.5~20,000Hzの1/3オクターブ毎に中心周波数の音圧レベルを読み取り、周波数特性を求める。 b. 音圧レベル分布 拡声用スピーカーから中心周波数4kHzのオクターブバンドノイズを再生させ、客席各点(1列、1席おき)における音圧レベルを読み取る。 c. 安全拡声利得 舞台中央・司会者位置において拡声用マイクロホンを使用し、ハウリングを生ずるレベルより利得を6dB小さくした状態で、擬似音源スピーカーからピンクノイズ信号を発生させる。この状態でマイク面の音圧レベルと、ホール内拡声状態における客席代表点(室中央)の音圧レベルとの差を求める。 d. 最大再生音圧レベル 各スピーカーからピンクノイズ信号を、歪なく再生できる最大レベルで再生させ、客席代表点(室中央)における音圧レベルを読み取る。 e. 残留雑音 d. 最大再生音圧レベルを確認後、調整卓チャンネルフェーダを絞りきり、客席における音圧レベル分布で最大の席において(1箇所以上)のオクターブバンドレベル(dB)を読み取り、NC値を求める。暗騒音も同席に於いて測定する。 f. 試験試験 拡声用マイクによる拡声音および再生音が、正常であることに加え、良好な音質や充分な音量であることを確認する。</p> <p>6. 検査・測定報告書の作成 測定完了後4週間以内に音響検査・測定報告書を5部作成し工事監理者に提出する。</p> <p><備考> *工事監理者とは必要に応じて音響専門機関を含む</p>

工事名称	(仮称)区画整理記念・交流会館建設機械設備工事	令和 元 年度
図面名称	音響特記仕様書(1)	図面サイズ: A1
縮尺	NO SCALE	図面番号 No.103(106枚の内)
大阪市都市整備局 企画部 公共建築課(設備グループ)		